

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 SN-TW79d	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お名前	様
お客様	
ご住所	
TEL ()	
販売店	店名・住所
上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池、microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

SUPER NIGHT

2カメラドライブレコーダー

Yupiteru

SN-TW79d

12V車専用

取扱説明書

HDR 搭載 ※フロントカメラのみ
(ハイダイナミックレンジ)
白トビや黒ツブレを抑え、
より明瞭な映像を記録します。



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフト、専用アプリは付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)



本機の設定を変更するには、スマートフォンのアプリが必要です。あらかじめお使いのスマートフォンで専用アプリがインストールできるか確認してください。



安心してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。(P.11、70)



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。



電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2153-A



確認
注意

基礎
知識

すぐ
に使う

専用
アプリ

カスタ
マイズ
して使う

専用
ソフト

その他

●重要事項●



必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(=不良セクタ)が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度SDカードをフォーマット(●P.11、70)することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
SDカードをフォーマットする	11
本体操作で設定を初期化する	12
もしも事故が起きたら・・・	13

基礎知識

各部の名称と働き	15
1. 付属品	17
2. 別売品	18
3. 付属品・別売品の購入について	18
SDカードの取り外し/装着	19
1. SDカードを本体から取り外す	19
2. SDカードを本体へ装着する	19
録画について	20
1. 常時録画	21
2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録)	21
3. 上書きモードについて	22
タイムラプスモードについて	24
1. タイムラプスモードにする	24
2. タイムラプスモードを終了する	25
メンテナンスについて	25
初期値について	26

すぐに使う

本機の取り付け	27
1. フロントカメラユニットを取り付ける	28
2. リアカメラユニットを取り付ける	30
3. リアカメラケーブルを接続する	31
4. 電源を接続する	33
別売品の取り付け	35
1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法	35
2. 電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01)の接続方法	38
電源ON～OFFまでの手順	42
1. 電源ON(録画を開始する)	42
2. SDカードをフォーマットする	43
3. ワンタッチ記録をする	43
4. 電源OFF(録画を停止する)	43

専用アプリ

専用アプリについて	46
1. 専用アプリをインストールする	46
2. 無線LAN接続する	46
専用アプリの操作	51
1. 録画操作について	51
2. 静止画を撮影する	52
3. 明るさを調整する	52
4. ライブ映像を切り替える	53
5. 音声録音をON/OFFする	53
6. 速度表示を切り替える	54
7. マップを表示する	55

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用アプリ、専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SD カード内にある録画ファイル」は全て削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。(☛ P.63)

●SD カードは消耗品です。

フォーマットしてもSD カードエラー (☛ P.79) が頻繁に表示される場合は、SD カードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SD カードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSD カードにも本機との相性問題があります。市販品のSD カードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種の品番を確認してからお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSD カードをご注文ください。

カメラリスト 56

1. カメラリスト画面を表示する 56

再生 58

1. アルバム画面を表示する 58
2. 再生する 60
3. 閲覧先のフォルダを変更する 62

録画ファイルの保存(コピー)/削除... 63

1. 録画ファイルを保存(コピー)する 63
2. 録画ファイルを削除する 63

カスタマイズして使う

設定画面の表示方法 65

1. ドライブレコーダー設定画面を表示する ... 65
2. APP 設定画面を表示する 66

設定画面 68

1. ドライブレコーダー設定画面 68
2. APP 設定画面 70

SDカード初期化(フォーマット) ... 70

1. SD カードをフォーマットする 70

リアカメラ映像の左右反転 71

1. リアカメラ映像を鏡像(左右反転)に切り替える ... 71

専用ソフト

専用ビューアソフトについて 72

1. 専用ビューアソフトをインストールする ... 72
2. 専用ビューアソフトを起動する 72

3. 録画ファイルを再生する 72

4. 専用ビューアソフトを終了する 73

専用ビューアソフト 74

1. 専用ビューアソフトの画面について 74

その他

録画ファイルの読み出しについて ... 76

1. 専用ビューアソフトを使用せずに
録画ファイルを再生する 77

動作一覧 78

こんなときは 79

故障かな?と思ったら 80

仕様 82

microSDカード対応一覧表 84

1. 録画時間の目安 84
2. イベント記録の最大記録ファイル数 84

索引 85

アフターサービス 87

1. お客様ご相談センター 87

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.87「アフターサービス」

- ⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

- ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

- ⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- ⊘ **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

- ⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

- ⚠ **SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

- ⊘ **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。



- ⊘ **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**

故障の原因となります。

- ⚠ **本機は精密機械です。**

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて(共通)

⚠ 警告

- ⚠ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ⚠ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ⚠ **取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。**

本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ⚠ **突起部分などにご注意ください。**

取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをする恐れがあります。

- ⚠ **接続部は確実に奥まで差し込んでください。**

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

- ⚠ **テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。**

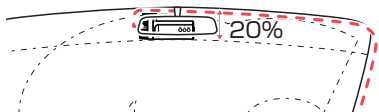
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けください。

※フロントガラスの下縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



- ❗ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

●取り付けについて(リアカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けください。

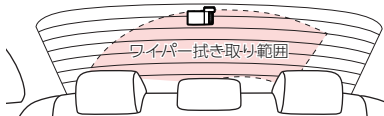
- ❗ 付属の両面テープで取り付けの前に専用アプリで映像の確認をしてください。

誤った方法で取り付けした場合、映像が上下反転します。

- ❗ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

- ❗ リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。

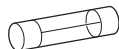
接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



交換ヒューズ2A
(20mm × 5.2mm)

- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠ 警告

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。



- ❗ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❗ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないで行ってください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 記録映像は全て正像になります。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

SDカードに関する注意

- ・ 純正品以外のSDカードを使用した場合、正常に録画できないことがあります。付属品または別売品のSDカードを使用することをお勧めします。
- ・ SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・ SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・ SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・ SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・ SDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

電源直結コードに関する注意

- ・ 電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ 電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

真夏などの炎天下での注意

- ・ サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
- ・ 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
- ・ 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

GPS測位に関する注意

- ・ 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・ 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・ 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・ 接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けられないでください。
- ・ ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・ 再塗装や塗装面の傷んでいいる場所に貼ると、ステッカーを剥がす際に、塗装がはがれたり、傷める場合があります。
- ・ 長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

他社製品との組み合わせに関する注意

- ・ 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

保証に関する注意

- ・ 本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 電波干渉について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。海外で使用する各国の電波法に抵触する可能性があります。

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様ご相談センターに御連絡いただき、混信回避の処置などについてご相談ください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。(P.87)

2.4 DS/OF 4

・この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
DS/OF: 変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。

4: 電波干渉距離は40mです。

■■■: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ 電波法に関する注意

- ・本体の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

SDカードをフォーマットする

必ず1~2週間に一度、本機でSDカードをフォーマット(初期化)してください。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

下記の操作は「SD ボタン」を使うフォーマット方法です。SD ボタンを長押し(約5秒間)するとフォーマットを行うことができます。

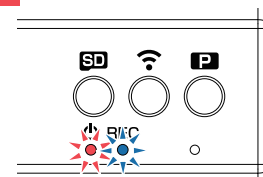
※フォーマットを行うと、録画ファイルは全て削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。(P.63)

※無線LAN接続中は、SD ボタンによるフォーマットは行うことはできません。

※専用アプリでもフォーマットを行うことができます。(P.70)

SDカードフォーマットの手順

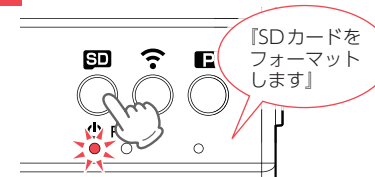
1 車両のエンジンをONする



電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が点灯し録画を開始します。

※録画準備中は電源ランプ(赤)のみが点灯します。

3 SD ボタンを押す

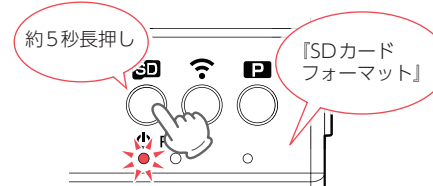


『SDカードをフォーマットします』と音声でお知らせします。

※SD ボタン以外を押すと、フォーマットはキャンセルされ録画を再開します。

※約10秒間操作が行われない場合、自動で録画を再開します。

2 SD ボタンを長押し(約5秒間)する



録画を停止し、『SDカードフォーマット』と音声でお知らせします。

※録画停止中は、録画ランプが消灯します。

『SDカードのフォーマットが完了しました』と音声でお知らせします。フォーマット完了後は自動で録画を再開します。

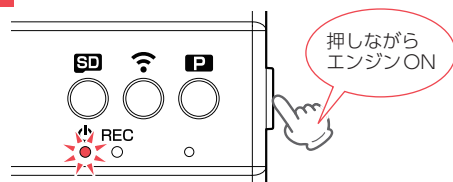
本体操作で設定を初期化する

専用アプリで無線LAN名称 (SSID) や無線LANパスワードを変更してSSID、パスワードがわからなくなった場合に本体のみで設定初期化を行うことができます。

※専用アプリでも初期化を行うことができます。(☞ P.68)

設定初期化の手順

1 記録ボタンを押しながら車両のエンジンをONする



電源ON後も記録ボタンを押し続けてください。



約3秒後に『設定を初期化しました』と音声でお知らせし、初期化は完了します。

初期化完了後は自動で録画を開始します。

アプリと接続をする場合は、無線LANをONしてください。(☞ P.46)

カメラの無線LAN設定の初期値について

無線LAN名称 (SSID) : 「YP-」から始まる英数字、無線LANパスワード : 1234567890

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

SDカードの保管

保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉

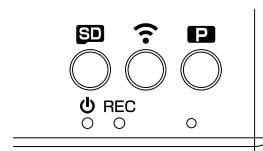


〈腐食性ガス〉

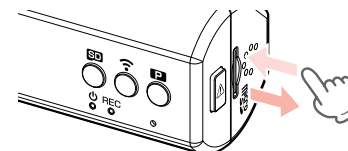
■ 付属品の電源直結コード接続時

付属の電源直結コードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンをOFFする



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

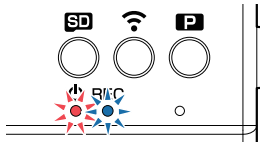
3 SDカードを保管する

■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

1 車両のエンジンをOFFする



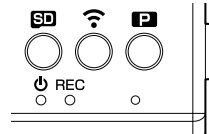
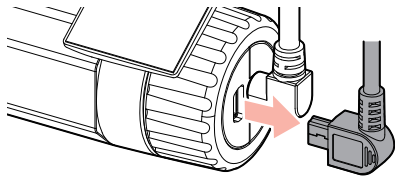
駐車記録を行います。

※別売品の設定によっては電源OFFします。

駐車時に事故が起きた場合

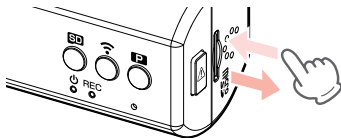
「2.フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外す」へお進みください。

2 フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

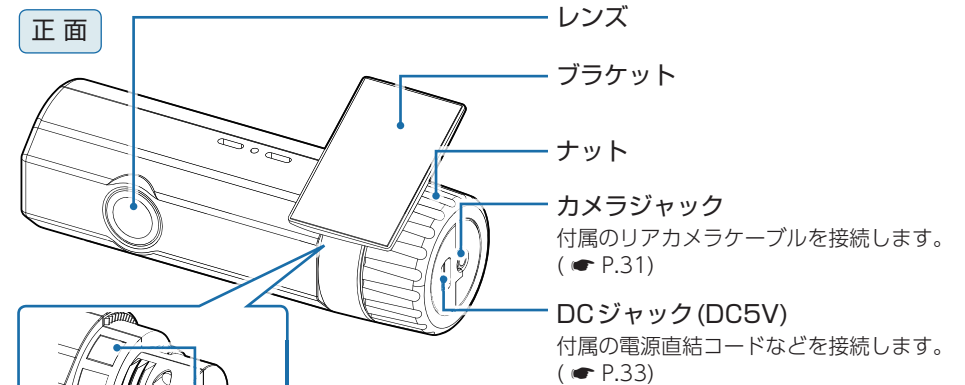
バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

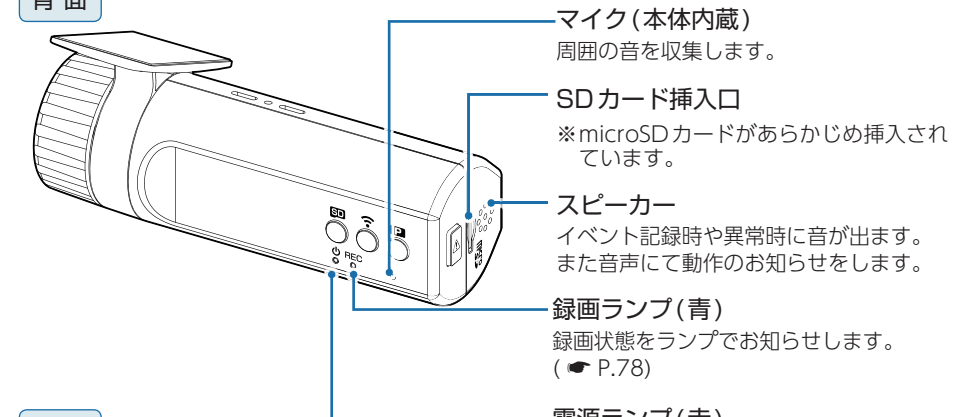
各部の名称と働き

■ 本体(フロントカメラユニット)

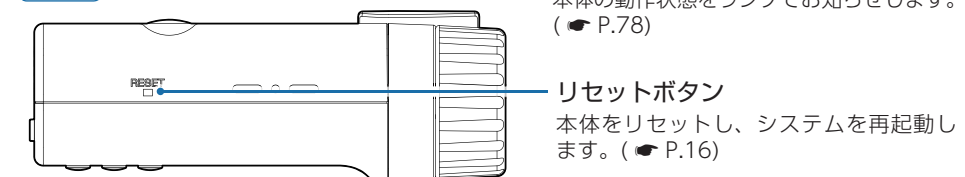
正面



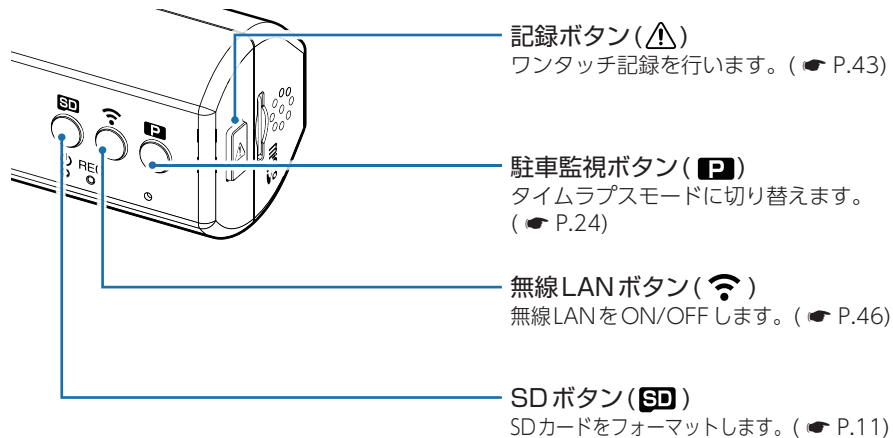
背面



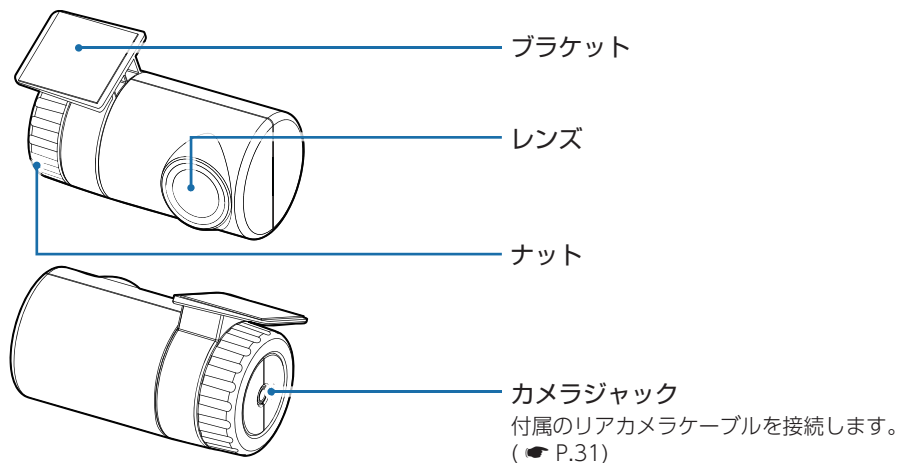
下面



操作ボタン



■ リアカメラユニット

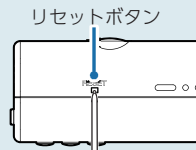


■ リセットボタンについて

ボタンを押しても
反応しない

こんなときは

リセットボタンを
押して再起動して
ください。



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

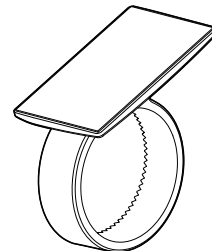
※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。

1. 付属品

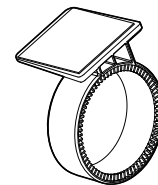
ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット2

・フロントカメラ用 (☞ P.28)



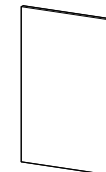
・リアカメラ用 (☞ P.30)



■ 両面テープ2

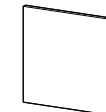
(ブラケットに使用します。)

・フロントカメラ用 (☞ P.28)



(38mm × 24mm)

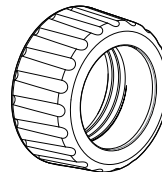
・リアカメラ用 (☞ P.30)



(20mm × 20mm)

■ ナット2

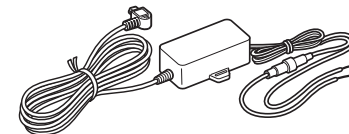
・フロントカメラ用 (☞ P.29)



・リアカメラ用 (☞ P.30)



■ 5V コンバーター付電源直結コード (約4m) (☞ P.33) 1



■ ドライブレコーダー搭載ステッカー (130mm × 58mm) 1

※ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けしないでください。

■ リアカメラケーブル(約9m) (☞ P.31) 1

■ microSDカード(16GB) 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) 1

- ・本機には、お買い上げの日から3年間の製品保証がついています。ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ 電圧監視機能付 電源ユニット^{※1}

(OP-VMU01) 本体 6,000円 + 税

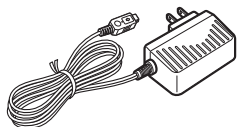
車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(P.38)

本体	1
入力コード	1
両面テープ	1

■ ACアダプター OP-E368

本体 3,000円 + 税

ご家庭で使用することができます。



※1：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX（機種名）用〇〇（必要な部品）」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

■ マルチバッテリー OP-MB4000

(12V車専用) 本体 23,000円 + 税

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(最大約12時間) (P.35)

本体	1
入力コード	1
出力コード	1
面ファスナー	1

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、8GB以上、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class 10」以上)

⚠ 注意

- ・SDカードは一方にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。
- ・無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

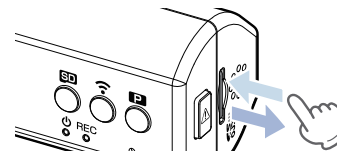
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。詳しくは、 P.14を参照ください。

1-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

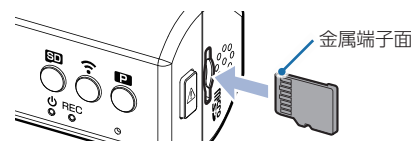
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する

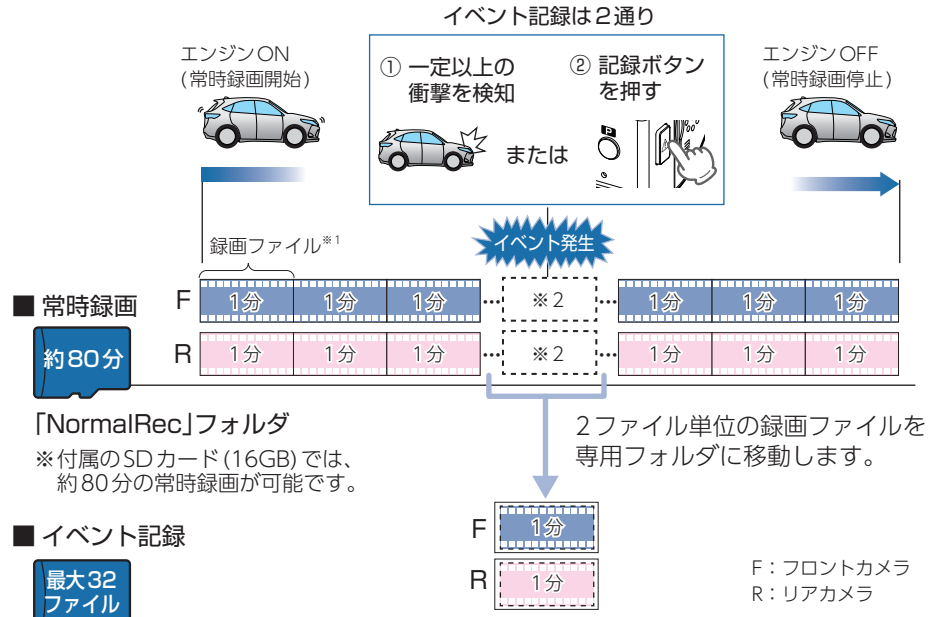


SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※SDカードの向きに注意して挿入してください。

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



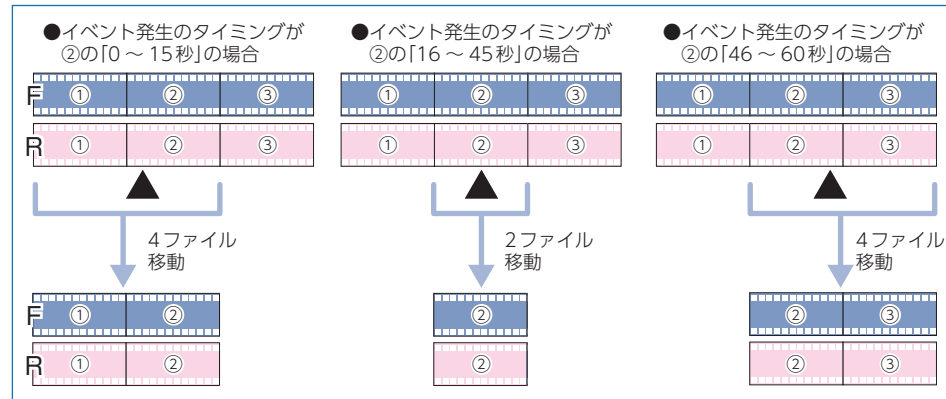
「GsensorRec」フォルダ …… Gセンサー記録

「EVSW」フォルダ …… ワンタッチ記録

※付属のSDカード(16GB)では、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて32ファイルのイベント記録が可能です。

※1: タイムラプスモード中は28分または14分の映像が1ファイルになります。(● P.24)

※2: イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。



- ・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれ古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(● P.22「上書きモードについて」)
- ・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- ・本機に異常などがあった場合は、映像を記録することはできません。(● P.79「こんなときは」)

1. 常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像をSDカードに常時録画します。録画開始時に『ピロロン』と音が鳴り、常時録画中は電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が点灯します。

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約1分で生成します。

・録画可能時間

初期値(● P.26)で、付属のSDカード(16GB)に約80分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(● P.84「録画時間の目安」)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、80分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.22「上書きモードについて」)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に『ピッ』と音が鳴り、録画ランプ(青)の早点減になります。

⚠ 注意

常時録画が停止(上書きモードが[上書き禁止]で常時録画のSDカード容量が上限に達した場合)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわらず行うことはできません。(● P.22「上書きモードについて」)

・録画ファイル構成

常時録画の録画ファイル構成と同様になります。

※ イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(● P.20)

・最大記録ファイル数

付属のSDカード(16GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて最大32ファイルのイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録ファイル数は異なります。(● P.84「イベント記録の最大記録ファイル数」)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、記録件数が32ファイルを超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(● P.22「上書きモードについて」)

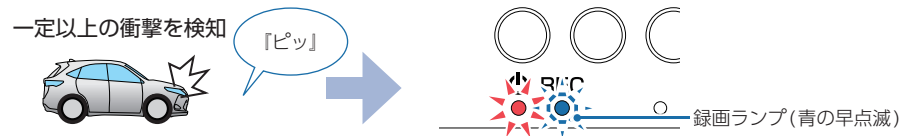
■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「Gsensor Rec」フォルダに移動します。

※初期値では「Gセンサー記録：ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。
(☛ P.68「設定画面」)

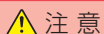
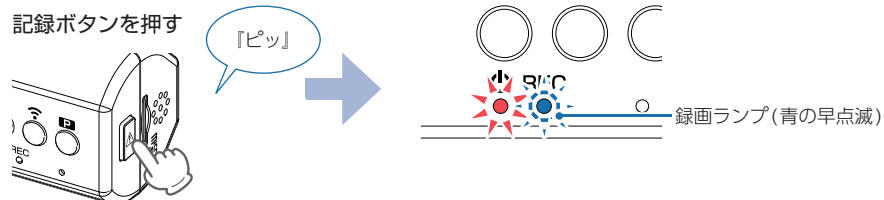
・ Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て「1.0G」となります。(☛ P.68「設定画面」)



■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に記録ボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。



注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.68「設定画面」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き	常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
すべて上書き(初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

■ 上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①：イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録ファイル数にかかわらず記録を行うことはできません。

常時録画



※時間はSDカードの容量により異なります。

イベント記録(回数)



※回数(ファイル数)はSDカードの容量により異なります。

■ 常時録画上書き

常時録画はSDカード容量の上限に達すると、古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録は、最大記録ファイル数に達した時点で、記録を停止します。

イベント記録(回数)



※回数(ファイル数)はSDカードの容量により異なります。

■ すべて上書き(初期値)

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

音声のお知らせを止める場合は、各ボタンを押してください。

タイムラプスモードについて

駐車中の長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し記録を行うタイムラプスモード（駐車監視）があります。別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）または、電圧監視機能付電源ユニット（OP-VMU01）を接続して駐車記録を行う場合にご使用ください。

※タイムラプスモード中は、フレームレートが「1コマ/秒」に固定されます。そのため28分または14分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。1ファイルの記録時間はビデオ解像度で設定したフレームレートが反映されます。（28：28分、14：14分）

※タイムラプスモード中は、「.nmeaファイル」（P.77）が作成されないため、再生時に地図などは表示されません。

※タイムラプスモード中は、ワンタッチ記録を行うことはできません。

※Gセンサー記録が[OFF]時に、タイムラプスモード イベント記録を[ON]にしてもGセンサー記録は行いません。（P.68「設定画面」）

※タイムラプスモード イベント記録が[OFF]の場合はGセンサー記録は行いません。（P.68「設定画面」）

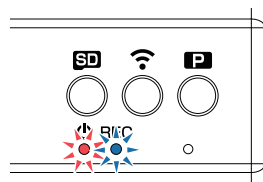
※タイムラプスモードのGセンサー記録の初期値は、[OFF]になっています。動作させるには、スマホアプリの設定（タイムラプスモード イベント記録）を[ON]にしてください。（P.68「設定画面」）

※タイムラプスモード中に、無線LAN接続した場合（P.46）は、タイムラプスモードを解除します。

※別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）または、電圧監視機能付電源ユニット（OP-VMU01）を接続して駐車記録を行う場合、最大継続時間は約12時間です。

1. タイムラプスモードにする

1-1 車両のエンジンをONする

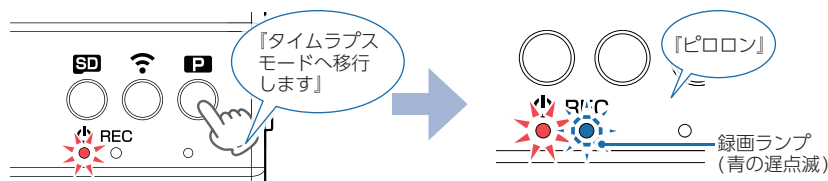


・ランプについて
P.78「動作一覧」

電源ランプ（赤）と録画ランプ（青）が点灯し、録画を開始します。

※録画準備中は電源ランプ（赤）のみが点灯します。

1-2 駐車監視ボタンを押す

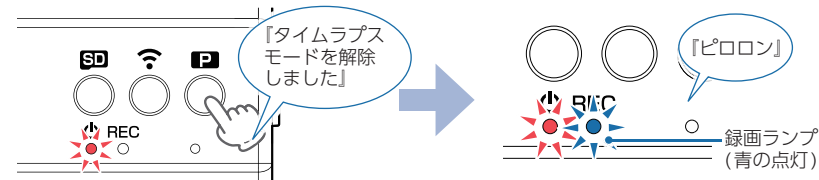


『タイムラプスモードへ移行します』と音声でお知らせし、タイムラプスモードで録画を開始します。

※タイムラプスモード中は電源ランプ（赤）が点灯、録画ランプ（青）が遅点滅します。

2. タイムラプスモードを終了する

2-1 タイムラプスモード中に駐車監視ボタンを押す



『タイムラプスモードを解除しました』と音声でお知らせします。自動で通常の録画を開始します。

※通常の録画は電源ランプ（赤）と録画ランプ（青）が点灯します。

※本体の電源OFFでもタイムラプスモードは終了します。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1～2週間に一度のメンテナンス



注意

必ず1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。（P.11、70）

■ 必要に応じてのメンテナンス

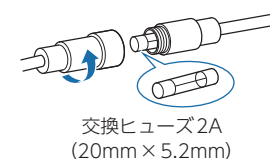
・付属の電源直結コードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、電源直結コードのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



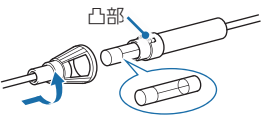
・別売品のヒューズ交換

- ※マルチバッテリー (OP-MB4000) : 交換用ヒューズ6A (30mm×6.0mm)
- ※電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01): 交換用ヒューズ3A (30mm×6.4mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ①接続コード類が外れていないか確認してください。
- ②下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダー先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



OP-MB4000 : 交換ヒューズ6A (30mm×6.0mm)
OP-VMU01 : 交換ヒューズ3A (30mm×6.4mm)

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説 明
ビデオ解像度	1080 720 28	フロントカメラの解像度：1920×1080 リアカメラの解像度：1280×720 フレームレート：28コマ/秒で録画します。
タイムスタンプ	ON	記録映像に、日付や時刻を記録します。
Gセンサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、Gセンサー記録を行います。(P.22「Gセンサー記録」)
Gセンサー感度(X)	1.0G	X(前後方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Y)	1.0G	Y(左右方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Z)	1.0G	Z(上下方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
音声録音	ON	動画と同時に音声も録音します。
タイムラプスモード イベント記録	OFF	タイムラプスモード時にGセンサー記録は行いません。
音量	80%	本機の音量を80%に設定しています。 ※ 音量は操作音、常時録画/イベント記録開始時の音、お知らせ時の音声に反映されます。
上書きモード	すべて上書き	SDカードの上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。 (P.22「上書きモードについて」)
リアカメラ鏡像	OFF(正像)	リアカメラで撮影する映像を正像で記録します。

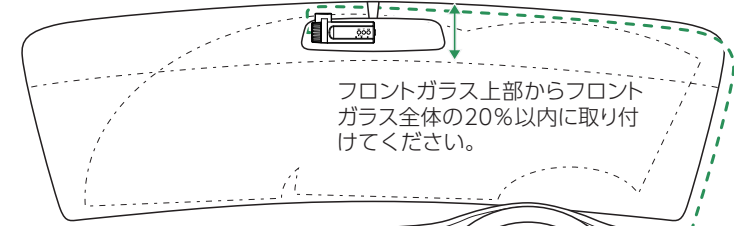
本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■フロントカメラユニット

- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置が確認してから行ってください。



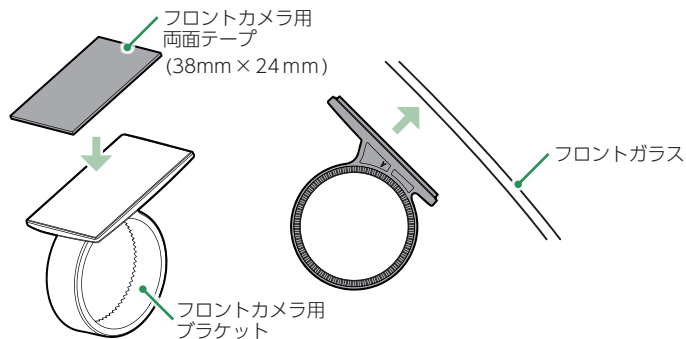
■リアカメラユニット

- ・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 フロントカメラ用ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

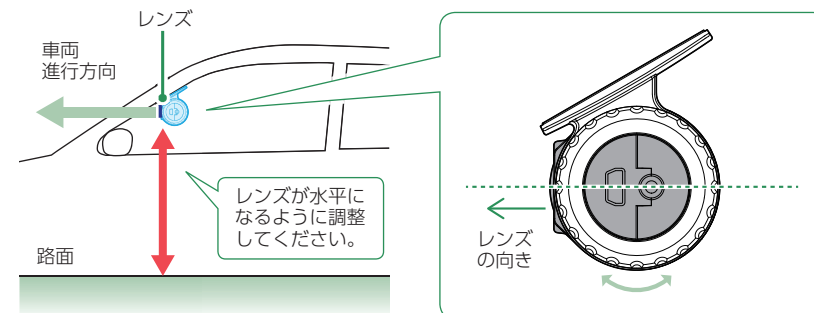


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

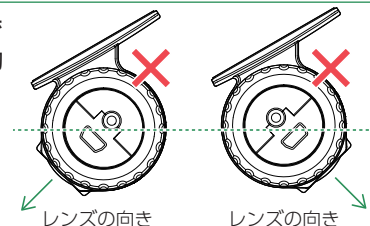
1-2 フロントカメラ用ブラケットにフロントカメラユニットを装着し、レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、手の脂分などでレンズが汚れ、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。触れてしまった場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

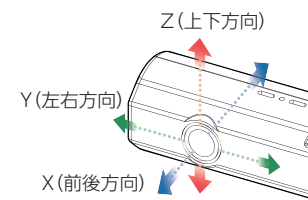
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。



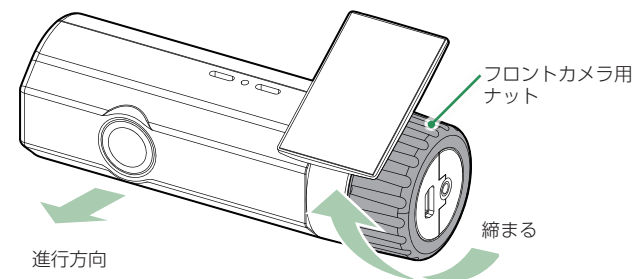
Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は0.5 G (敏感) ~ 4.0 G (鈍感) の0.1 G単位で設定できます。(● P.68)



1-3 フロントカメラ用ナットを締めて固定する



※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

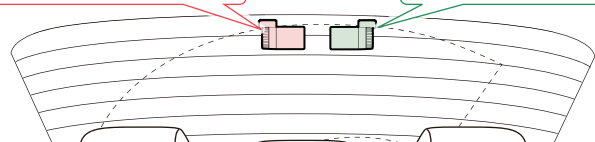
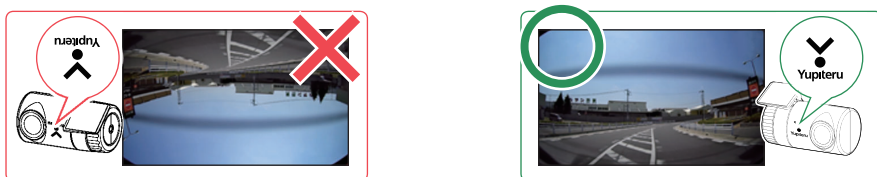
2. リアカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、リアガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

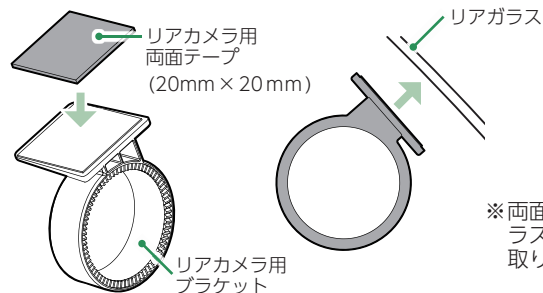
※リアカメラユニットを接続しなくても、フロントカメラユニットのみで録画をすることができます。必要に応じてご使用ください。

⚠ 注意

付属の両面テープで取り付け前に専用アプリで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。



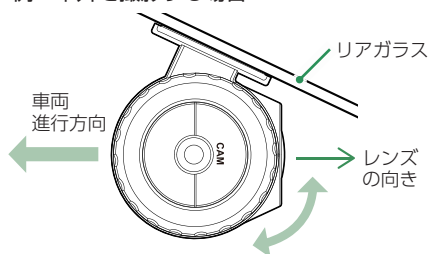
2-1 リアカメラ用ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、リアガラスに取り付ける



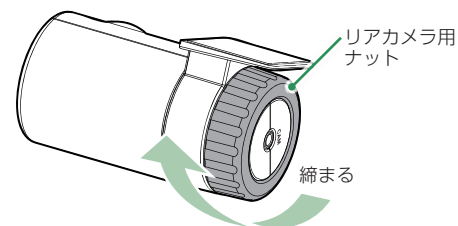
※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

2-2 リアカメラ用ブラケットにリアカメラユニットを装着し、レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合



2-3 リアカメラ用ナットを締めて固定する



※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

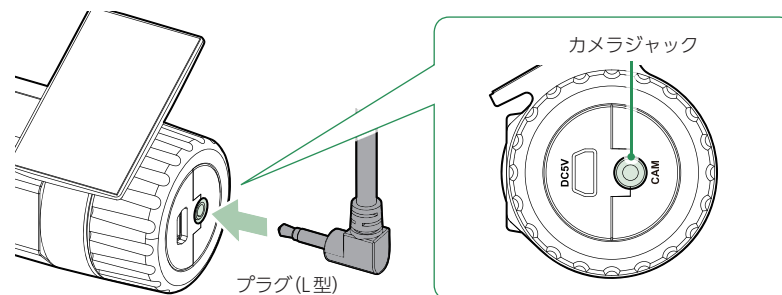
3. リアカメラケーブルを接続する

付属のリアカメラケーブルを接続することで、リアカメラの映像も記録できます。

※リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかり差し込んでください。プラグをしっかりと差し込まないと、リアカメラの映像を記録できない場合があります。

※プラグに無理な力を加えないでください。カメラジャック破損の原因となります。

3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



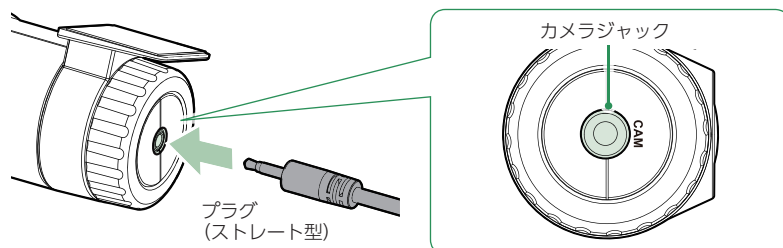
付属のリアカメラケーブルをフロントカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-2 リアカメラケーブルをリアカメラユニットまで配線する

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルをリアカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

4. 電源を接続する

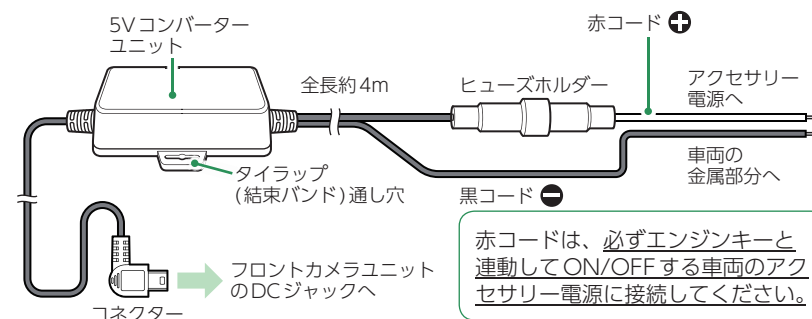
付属の電源コードを接続します。

※別売品で接続する場合は (P.35) を参照ください。

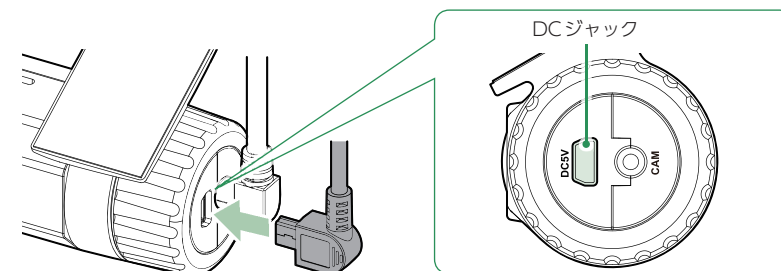
注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

4-1 電源直結コードを接続する



赤コードは、必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリ電源に接続してください。



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックと車両へ接続します。

※付属の電源直結コード、または別売品のACアダプター (P.18[別売品]) をご使用ください。

※作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。

※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。

誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。

うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

4-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。

取り付けと配線完了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

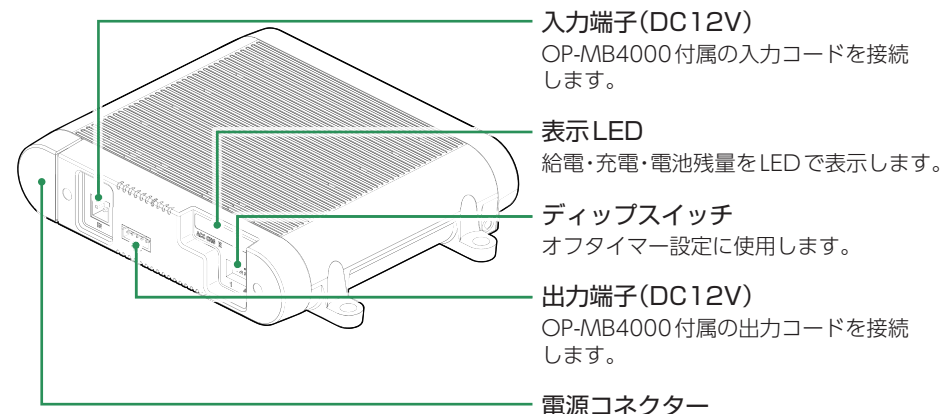
別売品の取り付け

⚠ 注意

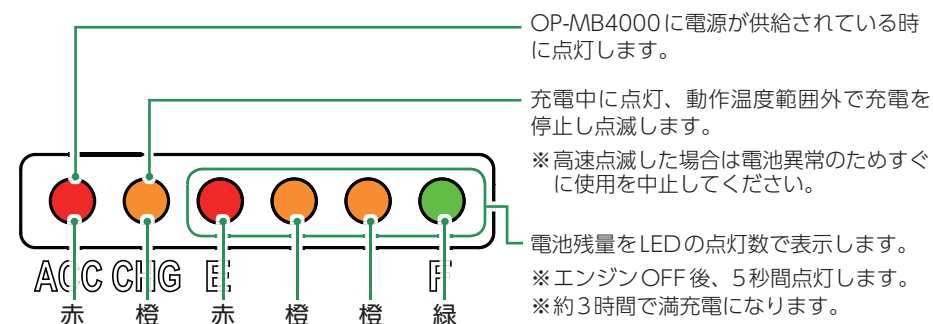
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



■ 表示LEDについて



⚠ 注意

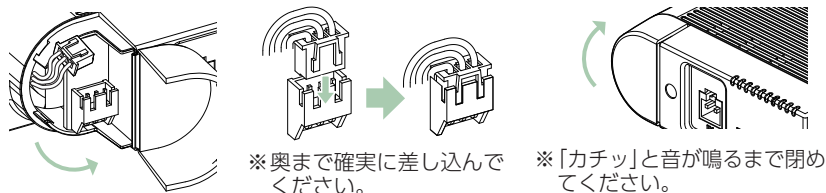
- OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
- ※電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

- ① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード
- ③ OP-MB4000 付属出力コード ④ 5V コンバーター付電源直結コード
- ⑤ 市販品接続端子

1-1 電源コネクターを接続する

- ① カバーを開ける ② 電源コネクターを接続する ③ カバーを閉じる



1-2 オフタイマー設定をする

エンジンOFF後、OP-MB4000内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。
お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。エンジンOFF時にディップスイッチの操作を行ってください。エンジンONした際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※オフタイマー設定に関係なく、OP-MB4000内蔵電池が少なくなった場合にはOP-MB4000内蔵電池からの電源供給を自動的に停止し駐車記録は行いません。

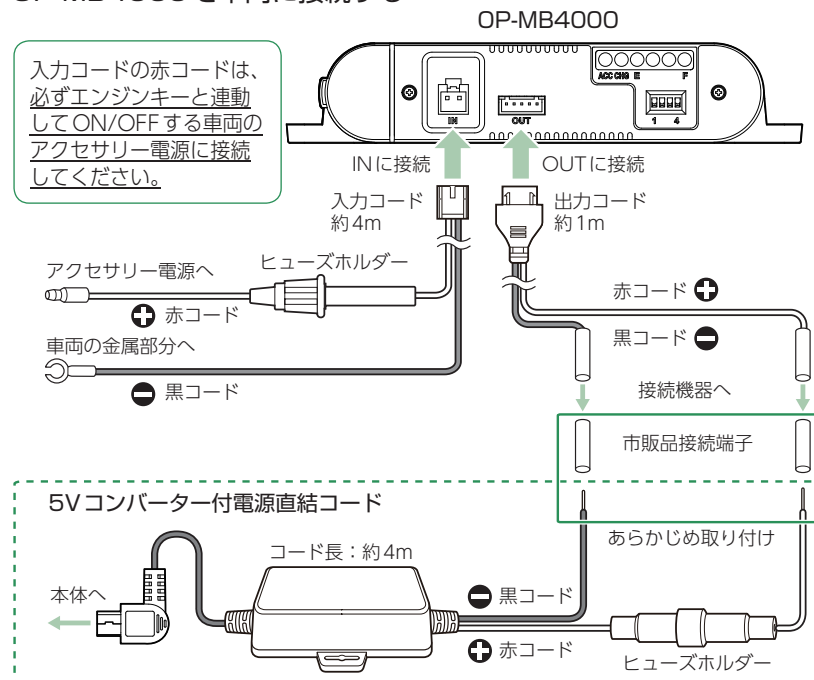
■ オフタイマー設定



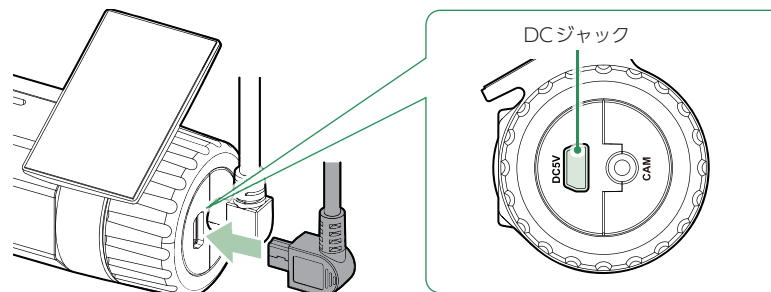
オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

1-3 OP-MB4000を車両に接続する



1-4 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

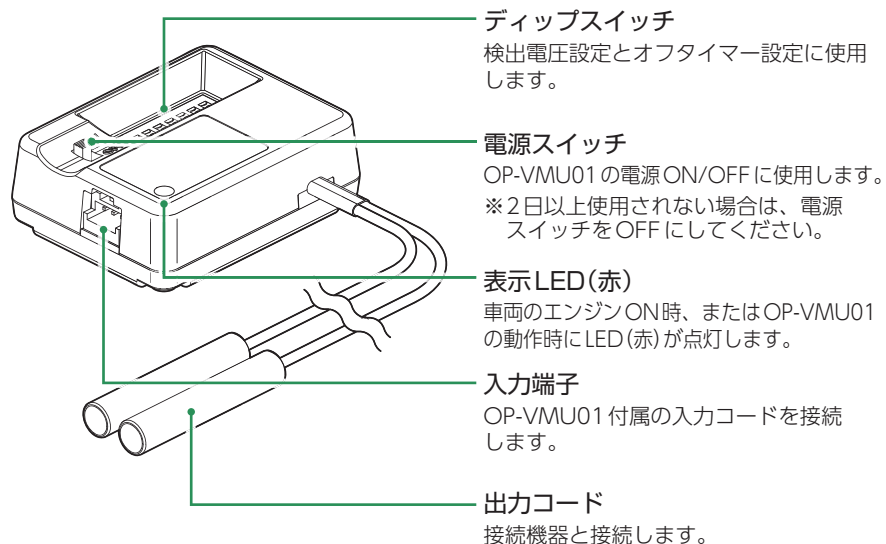
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法

■ OP-VMU01

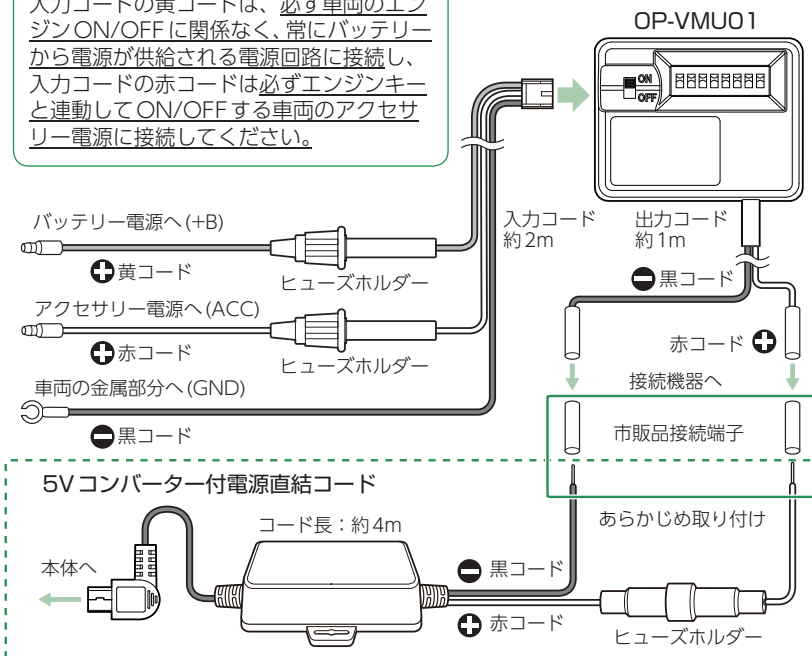


■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

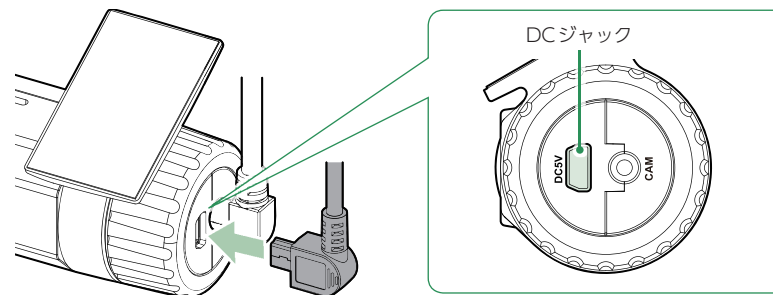
- ① OP-VMU01
- ② OP-VMU01 付属入力コード
- ③ 5V コンバーター付電源直結コード※1
- ④ 市販品接続端子

2-1 OP-VMU01 を車両に接続する

入力コードの黄コードは、必ず車両のエンジン ON/OFF に関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、入力コードの赤コードは必ずエンジンキーと連動して ON/OFF する車両のアクセサリ電源に接続してください。



2-2 電源直結コードを接続する



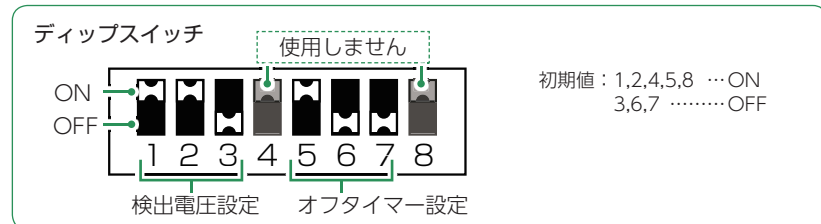
付属の電源直結コードをフロントカメラユニットの DC ジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

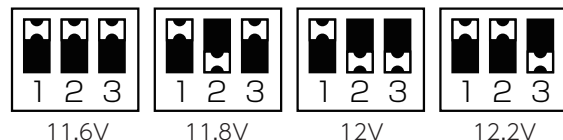
2-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

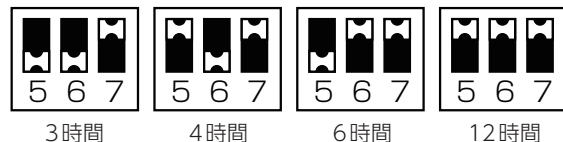
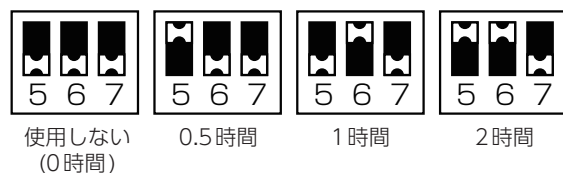
- ※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
- ※ディップスイッチの4、8は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
- ※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



■ 検出電圧設定(1～3使用) 12V車



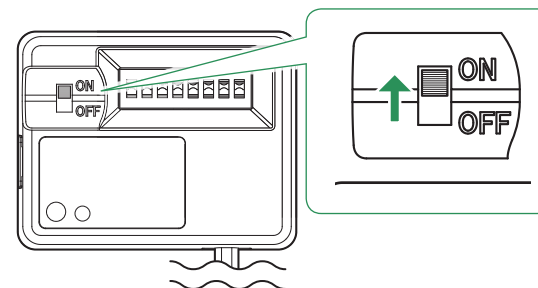
■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-4 電源スイッチをONにする



2-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

エンジン ON

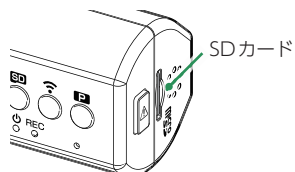


※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

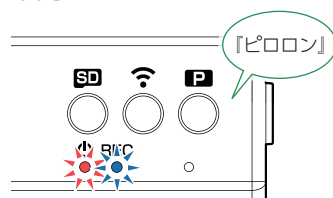
本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



- ・SDカードが挿入されていないときは…
電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
➡ P.19「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両のエンジンを ON する



- ・ランプについて
➡ P.78「動作一覧」

電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が点灯し、録画を開始します。

※録画準備中は電源ランプ(赤)のみが点灯します。

※GPS情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

・録画開始までの時間について…

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。録画ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・GPS測位について…

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。

フォーマット方法は、➡ P.11、70を参照ください。

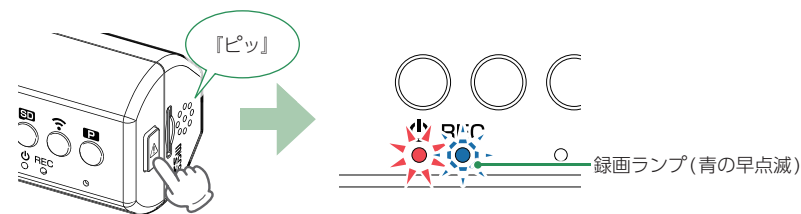
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

・録画ファイルのバックアップ… ➡ P.63「録画ファイルを保存(コピー)する」

3. ワンタッチ記録をする

3-1 常時録画中に、記録ボタンを押す



録画ランプ(青)が早点滅します。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画を開始します。

※ワンタッチ記録の詳細は、➡ P.21を参照ください。

4. 電源 OFF (録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

4-1 車両のエンジンを OFF する

録画が停止し、電源 OFF になります。

撮影した映像は「専用アプリ」「専用ソフト」「パソコン」から確認することができます。

・専用アプリ …… ➡ P.58「再生」

・専用ソフト …… ➡ P.74「専用ビューアソフト」

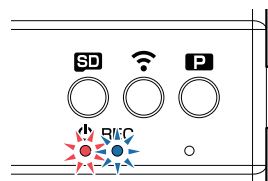
・パソコン …… ➡ P.76「録画ファイルの読み出しについて」

別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

※長時間駐車を行う場合は、タイムラプスモードにすることをお勧めします。(P.24)

■ タイムラプスモードを使用する場合

4-1 車両のエンジンをOFFする



・駐車記録とは…

エンジンOFF状態で外部電源により駐車中に記録を行うこと。

録画を継続し、駐車記録を行います。
※別売品の設定によっては電源OFFします。

4-2 駐車監視ボタンを押す



『タイムラプスモードへ移行します』と音声でお知らせし、タイムラプスモードで録画を開始します。

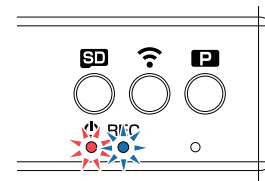
※タイムラプスモード中は電源ランプ(赤)が点灯、録画ランプ(青)が遅点減します。

4-3 車両のエンジンをONする

駐車記録が継続している場合、録画をタイムラプスモードで継続して行います。駐車監視ボタンを押してタイムラプスモードを終了してください。『監視モードを解除しました』と音声でお知らせし、自動で録画を開始します。駐車記録が停止している場合、通常の録画を開始します。

■ タイムラプスモードを使用しない場合

4-1 車両のエンジンをOFFする



・駐車記録とは…

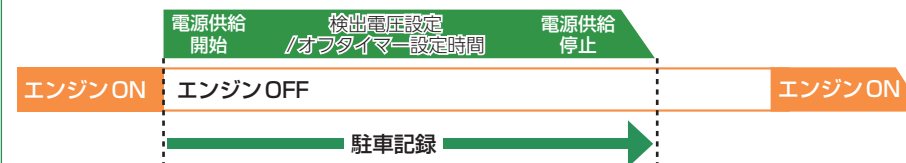
エンジンOFF状態で外部電源により駐車中に記録を行うこと。

録画を継続し、駐車記録を行います。
※別売品の設定によっては電源OFFします。

4-2 車両のエンジンをONする

駐車記録が継続している場合、録画を継続して行います。
駐車記録が停止している場合、録画を開始します。

■ 駐車記録時の動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(P.36、40)

※マルチバッテリー(OP-MB4000)はオフタイマー設定のみになります

※強制的に駐車記録を停止する場合は、本体のDCジャックから電源コードを取り外してください。(P.14)

専用アプリについて

専用アプリ「DRY Remote TypeC」を使用し、スマートフォンと本機を無線LAN接続することにより、本機の録画ファイルをスマートフォンで再生したり、録画操作や各種設定を行うことができます。

※本書では、Android端末で接続した場合の表示で記述しています。

※接続するスマートフォンの機種によっては、表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※専用アプリ「DRY Remote TypeC」は遠隔操作・走行位置の追跡を行うことはできません。

※以下の仕様を満たしたスマートフォン等で専用アプリを使用することができます。

iOS : 9、10、11、12

Android : 5、6、7、8、9 (Google Play対応)

※ただし、Intel Atom プロセッサ搭載モデルを除く。

(2019年11月現在)

1. 専用アプリをインストールする

専用アプリ「DRY Remote TypeC」をスマートフォンにインストールします。

インストール方法、対応機種は、下記のQRコードまたは弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/app/dry-remote-c/>

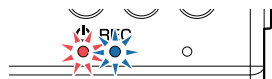


2. 無線LAN接続する

※本機と無線LAN接続できる機器はスマートフォン1台です。

※タイムラプスモード中に無線LAN接続した場合は、タイムラプスモードを解除します。

2-1 車両のエンジンをONする



電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が点灯し、録画を開始します。

2-2 無線LANボタンを押す



『スマートフォンと接続できます』と音声でお知らせし、本機の無線LANをONします。(無線LAN接続待機中)

※無線LAN接続待機中は電源ランプ(赤)が点灯、録画ランプ(青)が遅点滅になります。

※約5分間接続されない場合は、無線LANはOFFになり自動で録画を開始します。

無線LANをOFFする場合は、無線LANボタンを長押し(約5秒間)してください。『スマートフォンとの接続を終了します』と音声でお知らせしOFFします。

※OFF後は、自動で常時録画を開始します。

※本体の電源OFFでも無線LANはOFFします。

2-3 お使いのスマートフォンを本機の無線LANに接続する

接続方法はスマートフォンの取扱説明書に沿って接続してください。

本機は「YP-」から始まるSSID(ネットワーク名)で表示されます。

※初めて接続する際は、パスワード(1234567890)の入力が必要になります。

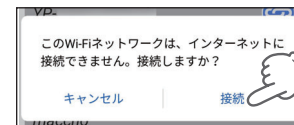
無線LAN接続中は…

・電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が遅点滅になります。

・本機では無線LANのOFF以外の操作が行えません。

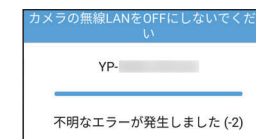


スマートフォンに下記の画面が表示されたら…



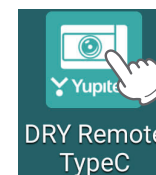
[接続]にタッチしてください。

※[キャンセル]にタッチ、または無操作の場合は接続できません。



無線LAN接続情報を一旦削除し、再度無線LAN接続を行ってください。

2-4 専用アプリアイコンにタッチし、[確定]にタッチする



<接続確認画面>



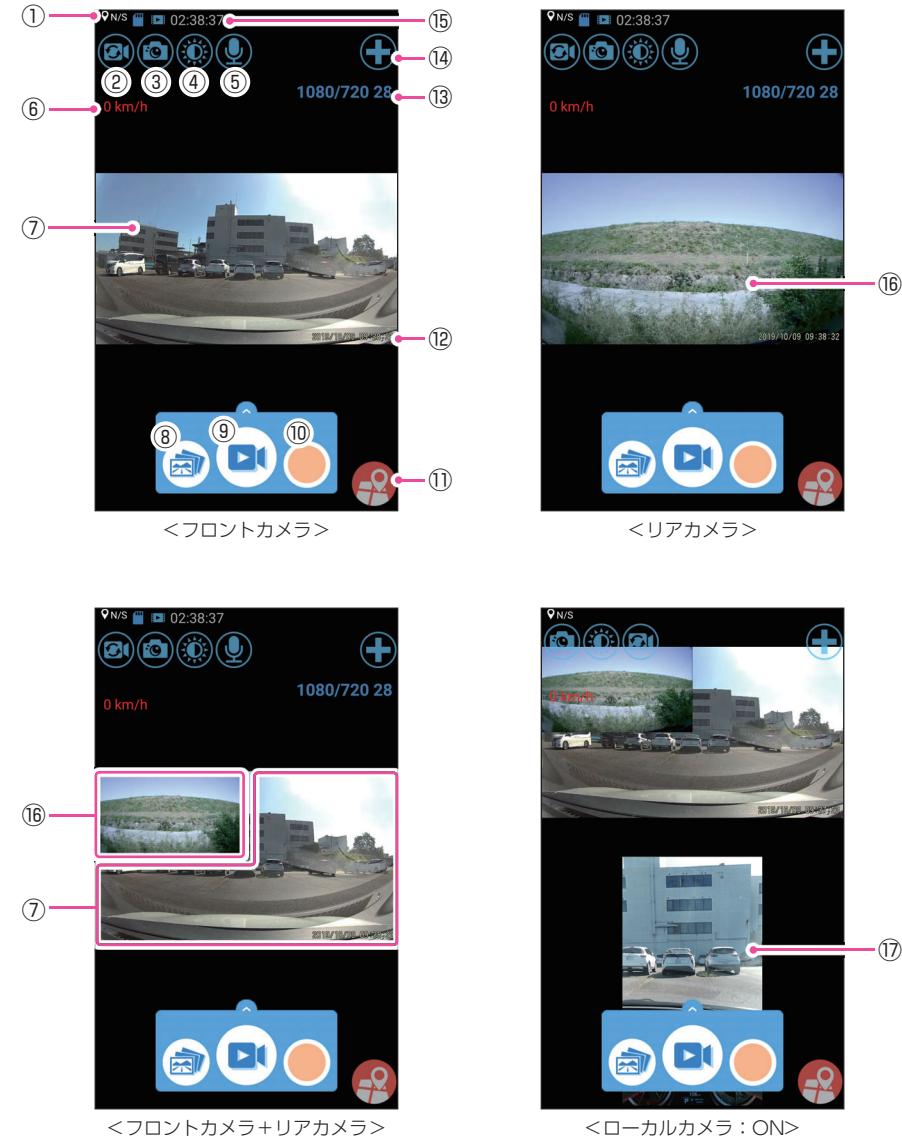
<ライブ映像画面>

本機と自動接続し、ライブ映像画面を表示します。

※[] 再表示しないでくださいにタッチでチェックを入れる、またはAPP設定で自動接続をON(P.70)にすると、次回アプリ起動時に接続確認画面を表示せず、ライブ映像画面を表示することができます。

■ ライブ映像画面

※ライブ映像画面の表示方法は、P.46を参照ください。
※ライブ映像を切り替える場合は、P.53を参照ください。
※ローカルカメラについては、P.56を参照ください。



No.	項目	説明
①	現在地	現在のスマートフォンの位置情報を表示します。
②	映像切替ボタン	タッチするたびにライブ映像を切り替えます。(P.53)
③	カメラボタン	静止画撮影します。(P.52) (記録形式：JPEG)
④	明るさ調整ボタン	ライブ映像画面の明るさを変更できます。(P.52) ※ 録画する映像の明るさは変更できません。
⑤	音声ボタン	音声記録のON/OFFを切り替えます。(P.53)
⑥	速度表示	現在の走行速度を表示します。 ※ タッチすると、メーター表示に切り替えます。(P.54)
⑦	フロントカメラ映像表示	フロントカメラで撮影している映像を表示します。
⑧	アルバム画面ボタン	記録された録画ファイルを表示します。
⑨	動画撮影ボタン	録画を開始/停止します。
⑩	メニューボタン	各設定などメニューリストが表示されます。(P.65)
⑪	マップボタン	映像表示に現在地を表示した地図を表示します。(P.55)
⑫	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。 ※ タイムスタンプ[OFF]では表示しません。(P.68)
⑬	解像度/フレームレート表示	解像度とフレームレートを表示します。 ※ タッチすると、解像度を変更することができます。
⑭	カメラリストボタン	カメラリスト画面を表示します。(P.56)
⑮	SDカードの残容量	本機のSDカード残容量を表示します。 ※ 録画中は、「Recording」の文字を表示します。
⑯	リアカメラ映像表示	リアカメラで撮影している映像を表示します。 ※ リアカメラユニットが接続されていない場合は表示されません。
⑰	ローカルカメラ映像	スマートフォンのカメラ映像を表示します。

※ 現在位置の表示には専用アプリをお使いのスマートフォン本体のGPS情報を利用します。スマートフォンの位置情報/位置情報サービスが有効になっているかご確認ください、位置情報が有効になっていない場合は「マップボタン」は表示されません。



アプリとの接続が解除された場合は、下記の手順に沿って再接続してください。

① ④ にタッチする



② 本機のSSID名の右側
⑤ にタッチする



③ ⑥ にタッチする



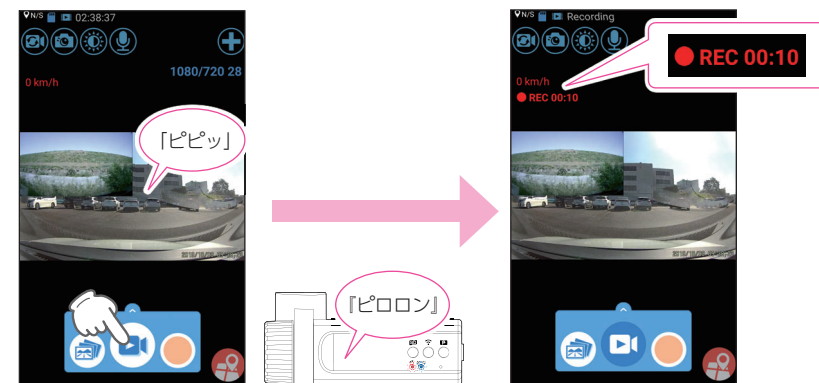
ライブ映像画面を
表示します。

専用アプリの操作

1. 録画操作について

■ 録画開始

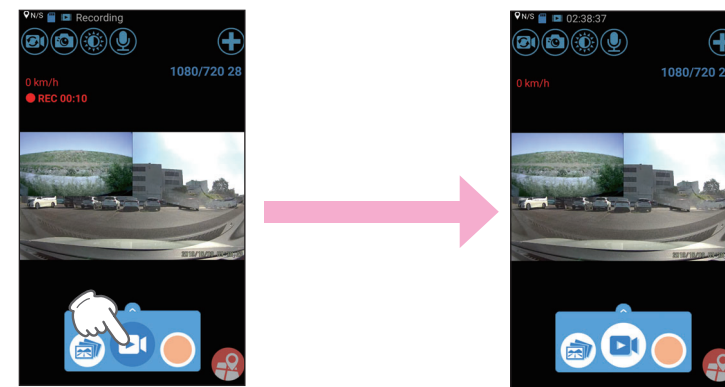
1-1 ライブ映像画面の ⑦ (動画撮影ボタン) にタッチする



録画を開始します。
録画中は左上に赤色でRECと録画時間を表示し、⑦ は点滅します。

■ 録画停止

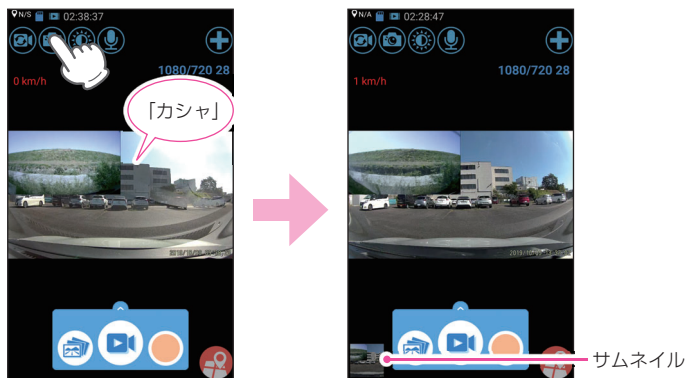
1-1 ライブ映像画面の ⑦ (動画撮影ボタン) にタッチする



録画を停止します。

2. 静止画を撮影する

2-1 ライブ映像画面の (カメラボタン) にタッチする



静止画撮影します。

※静止画はスマートフォンに保存されます。

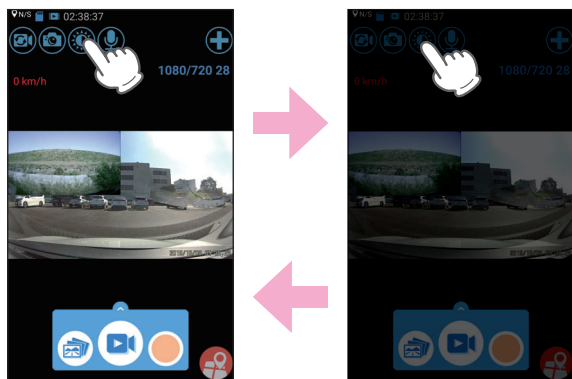
※左下のサムネイルにタッチすると静止画を一覧で表示します。

※ローカルカメラ表示 (P.56) をONにすると、スマートフォンからの撮影に切り替わります。

3. 明るさを調整する

※録画する映像の明るさは変更できません。

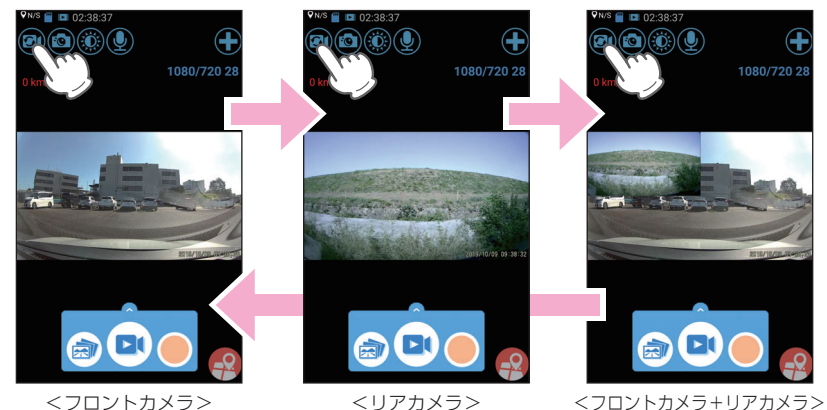
3-1 ライブ映像画面の (明るさ調整ボタン) にタッチする



にタッチするたびにON/OFFが切り替わります。

4. ライブ映像を切り替える

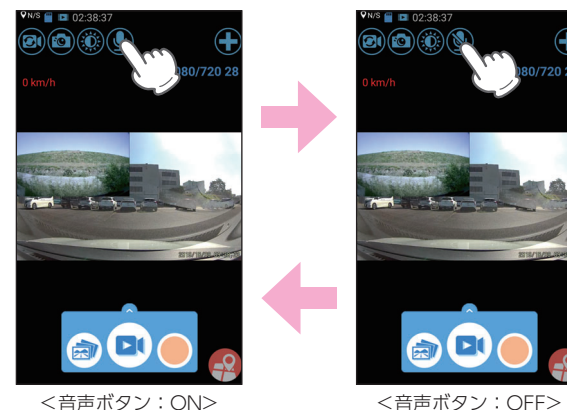
4-1 ライブ映像画面の (映像切替ボタン) にタッチする



にタッチするたびにライブ映像を切り替えます。

5. 音声録音をON/OFFする

5-1 ライブ映像画面の (音声ボタン) にタッチする



：ON
：OFF

にタッチするたびにON/OFFが切り替わります。

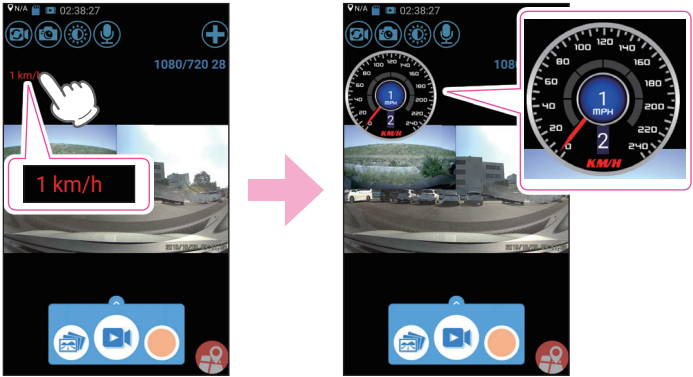
6. 速度表示を切り替える

速度表示にタッチすることでメーター表示に切り替えることができます。

※速度表示に戻す場合は、メーター表示を画面外にドラッグしてください。

※メーター表示は、ドラッグで任意の場所に移動させることができます。

6-1 速度表示にタッチする



<速度表示>

<メーター表示>

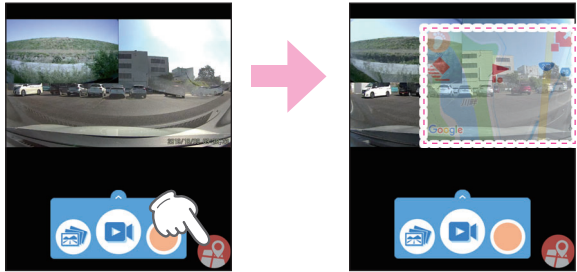
メーター表示に切り替わります。

7. マップを表示する

※マップ表示(地図)には、無線LAN接続とデータ通信(LTE/3G)を同時に行う必要があります。ご利用の機種が、無線LANとデータ通信を同時に使用できる機種であるか、端末メーカーにご確認ください。

※現在位置の表示には専用アプリをお使いのスマートフォン本体のGPS情報を利用します。スマートフォンの位置情報/位置情報サービスが有効になっているかご確認ください、位置情報が有効になっていない場合は表示されません。

7-1 ライブ映像画面の (マップボタン) にタッチする



地図を表示します。



No.	項目	説明
①	コンパス	コンパスをONにすると、地図が自分の動きに連動して自動的に回転します。 ON: (赤/橙枠)、OFF: (白/橙枠) 地図をスクロールすると (白/赤枠) になりタッチすると現在地に戻ります。
②	走行軌跡消去	走行軌跡を消去します。
③	表示切替ボタン	表示サイズを3段階で切り替えます。
④	記録位置	記録開始位置に (緑)、記録終了位置に (赤) を表示します。

表示サイズ



カメラリスト

表示するカメラを切り替えたり、複数表示することができます。

1. カメラリスト画面を表示する

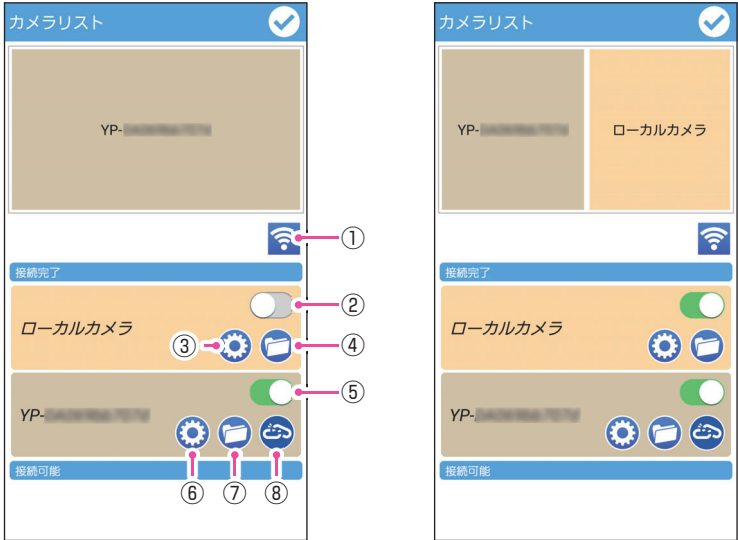
1-1 ライブ映像画面の + (カメラリストボタン) にタッチする



<カメラリスト画面>

カメラリスト画面を表示します。

■ カメラリスト画面



<ローカルカメラ：OFF>

<ローカルカメラ：ON>

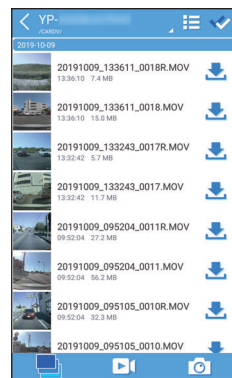
No.	項目	説明
①	WiFi設定ボタン	スマートフォンのWiFi設定画面を表示します。
②	ローカルカメラ表示	スマートフォンのカメラをライブ映像画面に表示するか選択できます。 🟢 : ライブ映像画面に表示できます。 🔴 : ライブ映像画面に表示しません。
③	APP設定ボタン	APP設定画面を表示します。(👉 P.70)
④	APPフォルダボタン	スマートフォンに保存された録画ファイルを確認することができます。
⑤	ドライブレコーダー表示ボタン	ドライブレコーダーの撮影映像をライブ映像画面に表示するか選択できます。 🟢 : ライブ映像画面に表示できます。 🔴 : ライブ映像画面に表示しません。
⑥	ドライブレコーダー設定ボタン	ドライブレコーダー設定画面を表示します。
⑦	ドライブレコーダー撮影映像フォルダボタン	ドライブレコーダーに保存された録画ファイルを確認することができます。
⑧	接続ボタン	ドライブレコーダーと接続/接続解除することができます。 接続をする場合は🔗をタッチしてください。 接続を解除する場合は🔌をタッチしてください。

再生

本機で記録した映像をスマートフォンで再生することができます。

1. アルバム画面を表示する

1-1 ライブ映像画面の (アルバム画面ボタン) にタッチする

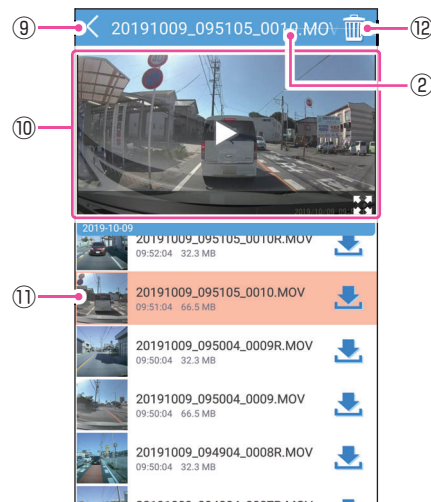


・ライブ映像画面の表示方法は…
➡ P.46「専用アプリについて」

<アルバム画面>

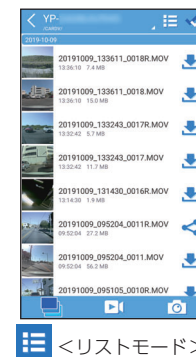
アルバム画面を表示します。

■ アルバム画面

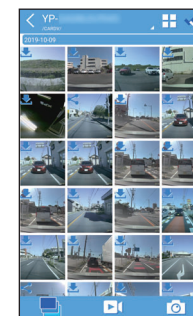


No.	項目	説明
①	フォルダ名	現在閲覧しているフォルダ名を表示します。 ※ タッチすると録画ファイルの閲覧先を変更できます。(➡ P.62)
②	録画ファイル情報	録画ファイルの情報を表示します。 ※ タッチすると再生画面を表示します。(➡ P.61)
③	ファイル選択ボタン	ファイル選択画面に移動します。(➡ P.64)
④	リスト表示変更ボタン	リストの表示内容を変更できます。 ☰ リストモード、☐ 写真モード、🗺️ マップモード
⑤	ダウンロードボタン	スマートフォンに録画ファイルを保存します。(➡ P.63)
⑥	全ファイルボタン	記録された全ファイルを表示します。
⑦	動画ファイルボタン	記録された録画ファイルを表示します。
⑧	写真ファイルボタン	記録された写真ファイルを表示します。
⑨	戻る	前の画面に戻ります。
⑩	再生画面	動画または静止画を表示します。(➡ P.61)
⑪	再生中ファイル	再生中の録画ファイルは背景が反転して表示されます。
⑫	消去ボタン	録画ファイルを削除します。(➡ P.63)

リスト表示



<リストモード>



<写真モード>



<マップモード>

※ 地図上の数字にタッチすると録画ファイルを画面下部に表示します。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20191122 - 123456 - 0001R . MOV — 動画

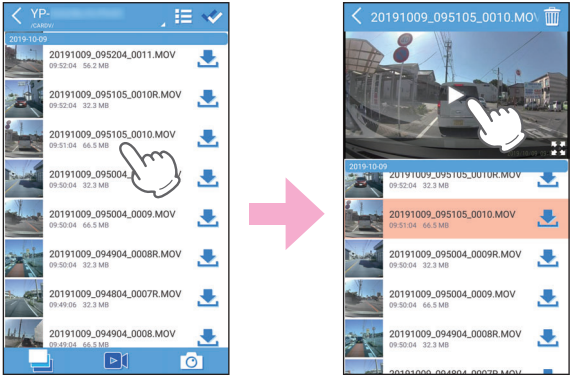
記録日(年月日)

記録時間(時分秒)

ファイル番号
(リアカメラの映像には「R」が付きます。)

2. 再生する

2-1 再生したい録画ファイルにタッチし、▶ にタッチする



録画ファイルを再生します。

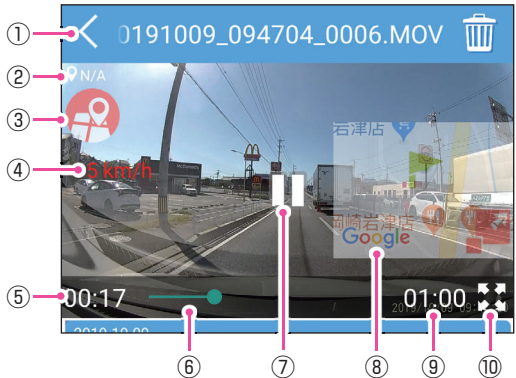
※再生時の音声はスマートフォンから出ます。音量の調整はスマートフォン本体で行ってください。

スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。



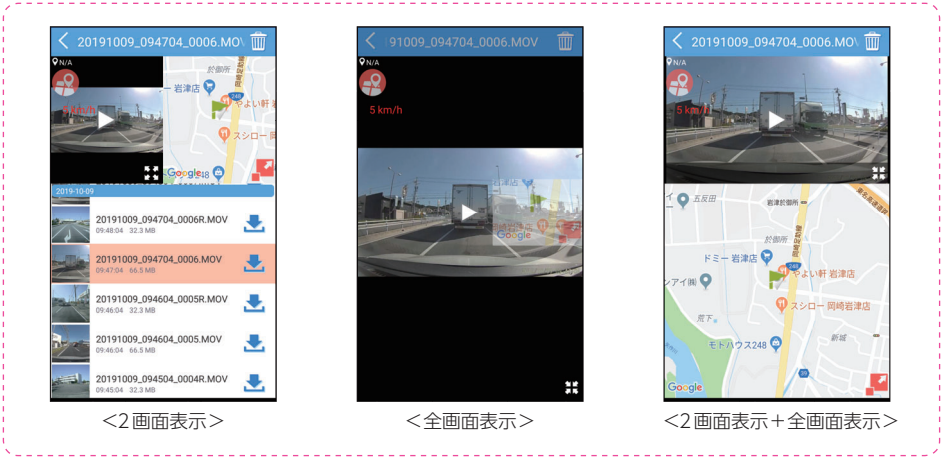
再生画面

専用アプリから録画開始すると、走行映像と一緒に速度や走行軌跡を地図上に表示することができます。



No.	項目	説明
①	戻る	前の画面に戻ります。
②	位置情報	記録位置情報を表示します。
③	マップボタン	映像表示に撮影時の位置を表示した地図が表示されます。
④	速度表示	撮影時の速度を表示します。 ※ タッチでメーター表示に切り替えます。
⑤	再生時間 (現在)	再生中の録画ファイルの現在時間を表示します。
⑥	タイムライン	タッチした位置から再生できます。
⑦	再生ボタン	▶ : 再生します。 ⏏ : 一時停止します。
⑧	マップ表示	📍 にタッチすると地図と映像の2画面表示になります。
⑨	再生時間 (全体)	録画ファイルの全体時間を表示します。
⑩	画面切替	全体表示に切り替わります。

※②③④⑧は、専用アプリから録画操作をした録画ファイルにのみ表示されます。
※数秒でタイムラインなどの表示は消えます。再度表示する場合は、画面にタッチしてください。
※現在位置の表示には専用アプリをお使いのスマートフォン本体のGPS 情報を利用します。スマートフォンの位置情報/位置情報サービスが有効になっているかご確認ください、位置情報が有効になっていない場合は「マップボタン」は表示されません。
※マップ表示には、無線LAN接続とデータ通信 (LTE/3G) を同時に行う必要があります。ご利用の機種が、無線LANとデータ通信を同時に使用できる機種であるか、端末メーカーにご確認ください。



3. 閲覧先のフォルダを変更する

3-1 フォルダ名にタッチする



閲覧したいフォルダにタッチしてください。
以下のフォルダ先を閲覧することができます。

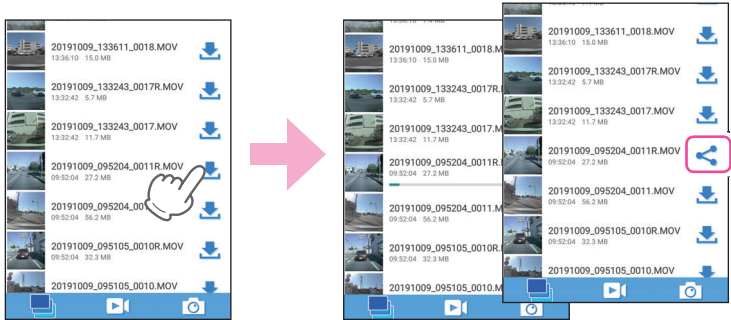
No.	種 類	説 明
①	APPフォルダー	スマートフォンへダウンロードした録画ファイル、写真ファイルを閲覧できます。
②	ローカルフォルダー	スマートフォン内全データ一覧を閲覧できます。
③	SDカードフォルダー	スマートフォンのSDカード内全データ一覧を閲覧できます。
④	ドライブレコーダー フォルダー (本機のSSID名)	ドライブレコーダー・アプリで記録したファイルを閲覧 できます。(初期値)

録画ファイルの保存(コピー)/削除

1. 録画ファイルを保存(コピー)する

1-1 アルバム画面を表示する(P.58)

1-2 保存したい録画ファイルの (ダウンロードボタン)にタッチする



スマートフォンに保存(コピー)されます。
保存されている場合は になり、タッチするとSNSなどに録画ファイルを共有することができます。
※ に切り替わらない場合は、スマートフォン側の設定(アプリ権限の許可等)を確認してください。

2. 録画ファイルを削除する



フロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを削除した場合、対になる録画ファイルも一緒に削除されます。あらかじめご了承ください。

2-1 アルバム画面を表示する(P.58)

2-2 削除したい録画ファイルにタッチする



2-3 (消去ボタン)にタッチし、[削除]にタッチする



表示中の録画ファイルと対になる録画ファイルが削除されます。

録画ファイルをまとめて選択したい場合は右上の ☒ (ファイル選択ボタン)にタッチしてファイル選択画面を表示してください。

録画ファイルにタッチで複数選択することができます。



<ファイル選択画面>

保存 全選択 削除

設定画面の表示方法

設定変更にはあらかじめ、専用アプリのインストールと本機との無線LAN接続が必要になります。準備してから行ってください。(P.46)

1. ドライブレコーダー設定画面を表示する

表示方法①

1-1 ライブ映像画面の (メニューボタン)にタッチする



・ライブ映像画面の表示方法は…
P.46「専用アプリについて」

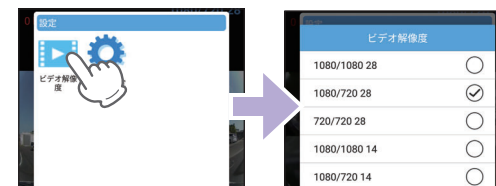
1-2 (その他設定)にタッチする



<ドライブレコーダー設定画面>

ドライブレコーダー設定画面を表示します。

(ビデオ解像度)にタッチするとビデオ解像度のみ設定できます。



■ 表示方法②

1-1 カメラリスト画面を表示する (P.56)

1-2 本機のSSID名の にタッチする



<ドライブレコーダー設定画面>

ドライブレコーダー設定画面を表示します。

2. APP 設定画面を表示する

2-1 ドライブレコーダー設定画面を表示する (P.65)

2-2 本機のSSID名にタッチする



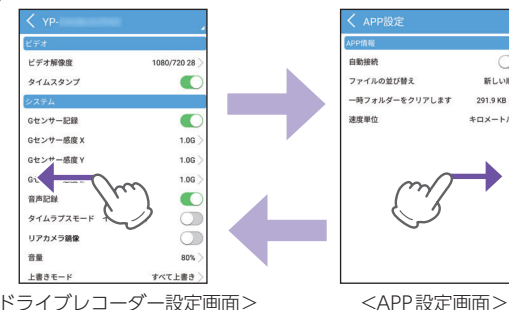
2-3 [APP 設定] にタッチする



<APP 設定画面>

APP 設定画面を表示します。

ドライブレコーダー設定画面を左右フリックすることでも設定画面を切り替えることができます。



<ドライブレコーダー設定画面>

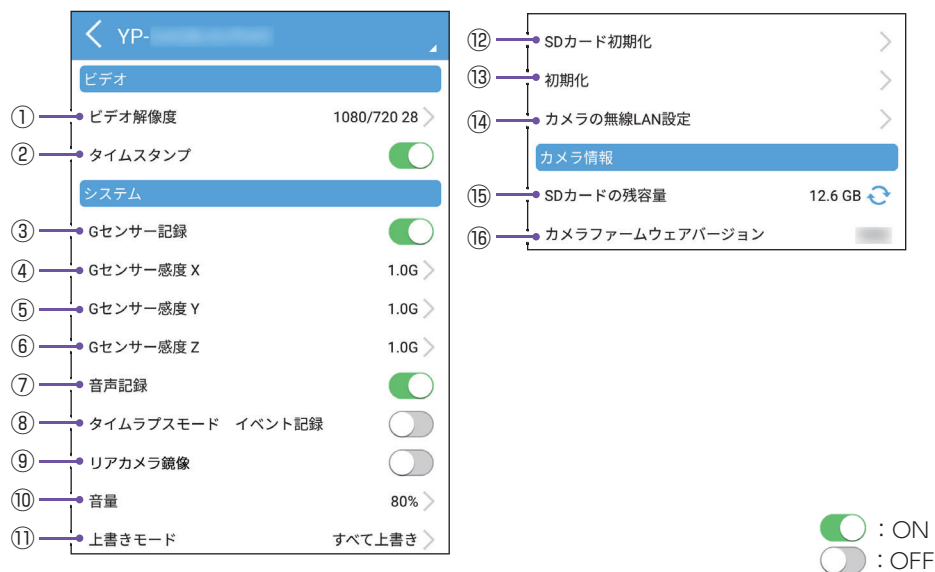
<APP 設定画面>

設定画面

1. ドライブレコーダー設定画面

ドライブレコーダー本体の設定を変更することができます。

※ドライブレコーダー設定画面の表示方法は P.65を参照ください。



★は初期値です。

No.	項 目	設 定	説 明
①	ビデオ解像度※ ¹	1080 / 1080 28	解像度とフレームレートを設定します。 ※ ビデオ解像度を下げると、録画可能時間を増やすことができます。 ※ 1080 : 1920×1080、720 : 1280×720 28 : 28 コマ/秒、14 : 14 コマ/秒 <u>1080 / 720 28</u> — フレームレート (録画コマ数) └── リアカメラ解像度 └── フロントカメラ解像度
		1080 / 720 28(★)	
		720 / 720 28	
		1080 / 1080 14	
		1080 / 720 14	
		720 / 720 14	
②	タイムスタンプ	ON(★)	記録映像に、日付や時間を記録するかON/OFFで設定します。
		OFF	

※1：タイムラプスモード中の1ファイルの記録時間は、ビデオ解像度で設定したフレームレートが反映されます。(28：28分、14：14分)

★は初期値です。

No.	項 目	設 定	説 明
③	Gセンサー記録	ON(★) OFF	Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。 ※ OFFにすると、⑧のタイムラプスモード イベント記録をONにしてもイベント記録は行いません。⑧をONにする場合は、必ずONに設定してください。
④	Gセンサー感度X	0.5G ～ 4.0G(1.0G★)	X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、大きくなると「鈍感」になります。
⑤	Gセンサー感度Y		
⑥	Gセンサー感度Z		
⑦	音声記録	ON(★) OFF	音声記録のON/OFFを設定します。
⑧	タイムラプスモード イベント記録	ON OFF(★)	タイムラプスモード中にGセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。 ※ ONにする場合、③のGセンサー記録もONにする必要があります。必ずONに設定しているか確認してください。
⑨	リアカメラ鏡像 (P.71)	ON OFF(★)	リアカメラで撮影する映像をON(鏡像)/OFF(正像)で切り替えることができます。 ※3
⑩	音量※2	ミュート/20/40/60/80/100% (80%★)	本機の音量を設定します。 ※ 音量は操作音、常時録画/イベント記録開始時の音、お知らせ時の音声に反映されます。
⑪	上書きモード	上書き禁止 常時録画上書き すべて上書き(★)	詳細は P.22「上書きモードについて」を参照ください。
⑫	SDカード初期化 (P.70)	確定 キャンセル	SDカードを初期化(フォーマット)します。
⑬	初期化	確定 キャンセル	本機をご購入時の設定に戻します。
⑭	カメラの無線 LAN設定	無線LAN名称(SSID) ([YP-]から始まる英数字★) 無線LANパスワード (1234567890★)	本機の無線LAN名称(SSID)や無線LANパスワードを設定できます。
⑮	SDカードの残容量	—	本機のSDカード残容量を表記します。
⑯	カメラファーム ウェアバージョン	—	本機のバージョンを表記します。

※2：音と音声を個別に設定することはできません。

※3：リアカメラ鏡像の設定を「ON(鏡像)」にした場合、リアカメラの記録映像も「鏡像」になります。

2. APP設定画面

アプリで使用できる機能を設定することができます。

※APP設定画面の表示方法は P.66 を参照ください。



項 目	設 定	説 明
自動接続	ON	無線LAN接続時、ドライブレコーダーと自動接続するか設定します。
	OFF(★)	
ファイル並び替え	新しい順(★)	アルバム画面の録画ファイルの順番を設定します。
	古い順	
一時フォルダーをクリアします	確定	一時フォルダーの中を削除します。
	キャンセル	
速度単位	キロメートル(★)	ライブ映像画面に表示される速度単位を設定します。
	マイル	

★は初期値です。

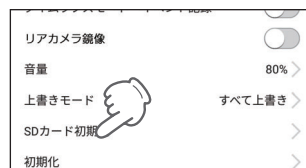
SDカード初期化(フォーマット)

※フォーマットを行うと、録画ファイルは全て削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。(P.63)

※本機でもフォーマットを行うことができます。(P.11)

1. SDカードをフォーマットする

1-1 ドライブレコーダー設定画面の[SDカード初期化]にタッチする



・ドライブレコーダー設定画面の表示方法は…

☛ P.65「設定画面の表示方法」

1-2 [確定]にタッチする

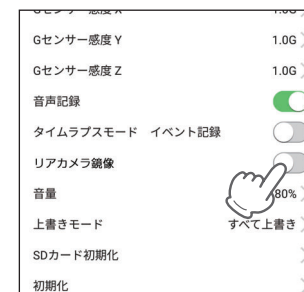
リアカメラ映像の左右反転

リアカメラで撮影する映像を正像/鏡像で切り替えることができます。

※リアカメラ鏡像の設定を[ON(鏡像)]にした場合、リアカメラの記録映像も[鏡像]となります。

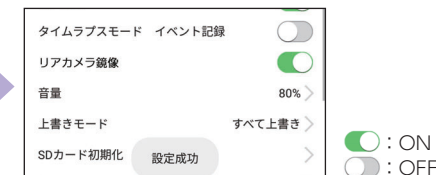
1. リアカメラ映像を鏡像(左右反転)に切り替える

1-1 ドライブレコーダー設定画面の[リアカメラ鏡像]にタッチする



・ドライブレコーダー設定画面の表示方法は…

☛ P.65「設定画面の表示方法」



リアカメラの映像をON(鏡像)に切り替えます。
完了後は、「設定成功」と数秒表示されます。

・OFF(正像)

後ろを振り返った時に見える風景で記録します。



< 正像 >

・ON(鏡像)

バックミラーを見たときに
見える風景で記録します。



< 鏡像 >

専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

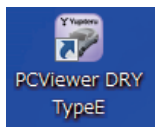
※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。<https://www.yupiteru.co.jp/>

※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PCViewer DRY TypeE] アイコンをクリックする



専用ビューアソフトが起動します。

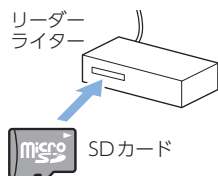
※専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

3. 録画ファイルを再生する

3-1 リーダーライターをパソコンに接続する



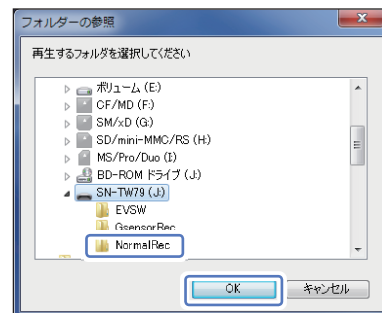
3-2 SDカードをリーダーライターに接続する



3-3 (フォルダを再生リストに読込) をクリックする



3-4 接続したSDカードのフォルダを選択し、[OK]をクリックする



・フォルダ名について

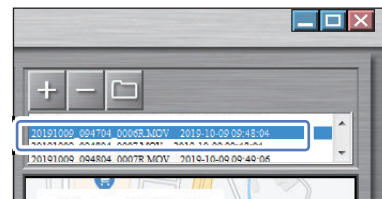
常時録画 …… [NormalRec] フォルダ
Gセンサー記録 … [GsensorRec] フォルダ
ワンタッチ記録 … [EVSW] フォルダ

※ Gセンサー記録やワンタッチ記録がない場合、[GsensorRec] フォルダや [EVSW] フォルダは、生成されません。

※ タイムラプスモード専用のフォルダはありません。常時録画、Gセンサー記録のフォルダをご確認ください。

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-5 録画ファイルをダブルクリックする



・専用ビューアソフトの詳細は…
P.74「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルを再生します。

※リアカメラの映像も自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の [X] をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

※リアカメラの別ウィンドウ [X] をクリックでも終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。<https://www.yupiteru.co.jp/>

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

※設定変更は専用アプリからの操作が必要です。 P.65 を参照ください。

1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示(フロントカメラ)>



<リアカメラ>

※録画ファイル再生時に自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)



<全画面表示(フロントカメラ)>

インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。



No.	表示名	説 明		
①	バージョン	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。		
②	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。		
③	タイムライン	クリック位置から再生できます。		
④	ファイルコントロール		1ファイルを開く	録画ファイルを1ファイル開いて再生します。 ※「1ファイルを開く」を行っても、再生リストには追加されません。
			停止	再生中の録画ファイルを停止します。
			再生 / 一時停止	録画ファイルを再生 / 一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
			ウィンドウサイズ切替	映像の全画面表示 / 標準表示を切り替えます。
			静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画 (JPEG ファイル) に変換して保存します。
			1フレーム再生	クリック毎に1フレーム進めた映像を表示します。
⑤	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。		
⑥	プログラム		最小化	ウィンドウを最小化します。
			最大化 / 元に戻す	ウィンドウを最大化 / 元に戻します。
			閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑦	再生リストの操作		ファイルを再生リストへ追加	再生リストに1ファイル追加します。
			ファイルを再生リストから削除	再生リストから1ファイル削除します。 ※ 再生リストから削除してもSDカード内の録画ファイルは削除されません。
			フォルダを再生リストに読込	再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
⑧	再生リスト	録画ファイルのファイル名と録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 ※ ファイル名の詳細は P.76「録画ファイルの読み出しについて」を参照ください。		
⑨	地図表示	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。		
⑩	走行速度表示	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。		
⑪	ファイル情報	表示している画面の緯度・経度・高度・加速度(X・Y・Z)を表示します。		

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 10、8、7
CPU : Core2Duo相当、2.0GHz以上
メモリ : 2GB 以上

(2019年11月現在)



- ※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
- ※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
- ※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20191122 _ 123456 _ 0001R . MOV — 動画

記録日(年月日) 記録時間(時分秒) ファイル番号
(リアカメラの映像には「R」が付きます。)

■ フォルダ構造について

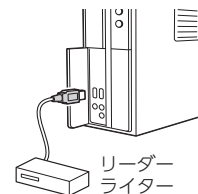
各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード

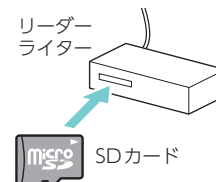
- NormalRec — 20191122_123456_0001.MOV
- GsensorRec — 20191122_133456_0002.MOV
- EVSW — 20191122_143456_0003.MOV

1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

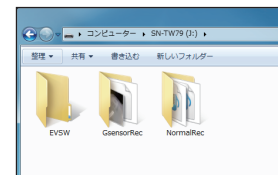
1-1 リーダーライターをパソコンに接続する



1-2 SDカードをリーダーライターに接続する



1-3 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



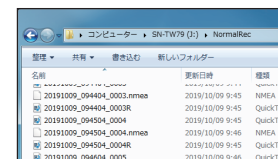
・フォルダ名について

常時録画…「NormalRec」フォルダ
Gセンサー記録…「GsensorRec」フォルダ
ワンタッチ記録…「EVSW」フォルダ

※ Gセンサー記録やワンタッチ記録がない場合、「GsensorRec」フォルダや「EVSW」フォルダは、生成されません。

※ タイムラプスモード専用のフォルダはありません。常時録画、Gセンサー記録のフォルダをご確認ください。

1-4 録画ファイルをダブルクリックする

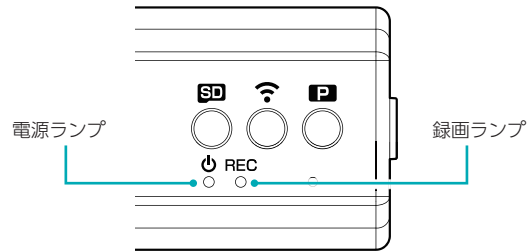


・「.nmea」ファイルについて

GPSの位置情報やGセンサー情報などが記録されているファイルです。
削除すると、専用ビューアソフトで走行速度などが表示されなくなります。

Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

動作一覧

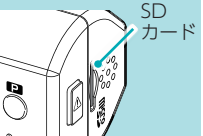


動作状態	ランプの状態 電源ランプ (赤) / 録画ランプ (青)	音	参照 ページ
録画準備中 / 録画停止中	(赤) [Red bar] : 点灯 (青) [Blue bar] : 消灯	—	☛ P.11 ☛ P.42
常時録画中	(赤) [Red bar] : 点灯 (青) [Blue bar] : 点灯	開始時に 『ピロロン』	☛ P.21
	無線 LAN 接続時 (赤) [Red bar] : 遅点滅 (青) [Blue bar] : 遅点滅		☛ P.51
	タイムラプスモード時 (赤) [Red bar] : 点灯 (青) [Blue bar] : 遅点滅		☛ P.24
イベント記録中	(赤) [Red bar] : 点灯 (青) [Blue bar] : 早点滅	開始時に 『ピッ』	☛ P.21
	無線 LAN 接続時 (赤) [Red bar] : 遅点滅 (青) [Blue bar] : 早点滅		—
	タイムラプスモード時 (赤) [Red bar] : 点灯 (青) [Blue bar] : 早点滅		—
無線 LAN 接続待機中	(赤) [Red bar] : 点灯 (青) [Blue bar] : 遅点滅	—	☛ P.46
無線 LAN 接続中	(赤) [Red bar] : 遅点滅 (青) [Blue bar] : 遅点滅	—	☛ P.46
異常時	(赤) [Red bar] : 早点滅 (青) [Blue bar] : 消灯	☛ P.79	
リアカメラユニット 未接続時	(赤) [Red bar] : 点滅 (青) [Blue bar] : 点灯	—	
電源 OFF	(赤) [Red bar] : 消灯 (青) [Blue bar] : 消灯	—	☛ P.43

こんなときは

本機に異常などがあった場合に音声でお知らせします。音声を止める場合は、各ボタンを押してください。

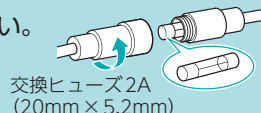
※SDカードエラーが頻繁に出る場合は、新しいSDカードに交換してください。

音 声	対処方法
『SDカードが挿入 されていません。 SDカードを確認し てください。』	☐ SDカードが正しく挿入されていますか。 (☛ P.19) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを 行った場合、自動で再起動します。 
『SDカードエラー です。SDカードを 認識することがで きません。』	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHCカード ・容量：8～32GB ・SDスピードクラス：Class10以上 ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.19) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動 します。 ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンやスマートフォンなどに バックアップしてから、本機でフォーマットしてください。 (☛ P.11、70)
『常時録画の容量が 不足しているため 録画を開始できま せん。』	☐ 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード 容量の上限に達すると、録画を停止します。 上書きモードの設定は、☛ P.68を参照ください。 ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンやスマートフォンなどに バックアップしてから、本機でフォーマットしてください。 (☛ P.11、70)
『Gセンサー記録の 容量が不足してい るためイベント記 録ができません。』	『ワンタッチ記録の 容量が不足してい るためイベント記 録ができません。』

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- ☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



映像が記録できない

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.19)

車両のエンジンをOFFしても本体電源がOFFにならない

- ☐ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニットを接続していませんか。
設定によっては車両のエンジンOFF後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。(☛ P.14)

イベント記録ファイルがない

- ☐ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。
- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(☛ P.21「常時録画」)

録画ファイルがない

- ☐ 専用アプリでフロントカメラまたはリアカメラの映像を削除していませんか。
専用アプリでどちらかの映像を削除した場合、もう一方の映像と.nmeaファイルも一緒に削除されます。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

- ☐ 「.nmea」ファイルを削除していませんか。
録画ファイルと同じフォルダにある「.nmea」ファイル内に情報が保存されています。削除しないようにしてください。
- ☐ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- ☐ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- ☐ タイムラプスモードで録画していませんか。
タイムラプスモードで録画した場合、「.nmea」ファイルが作成されないため、地図(Google Maps)は表示されません。

無線LAN接続できない

- ☐ 無線LAN接続待機中になっていますか。(☛ P.46)
- ☐ 無線LAN名称(SSID)や無線LANパスワードを変更してわからなくなった場合は、本体のみで設定初期化してください。(☛ P.12)

電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源スイッチはONになっていますか。
OFFになっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(☛ P.38)
- ☐ オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ エンジンOFF時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(☛ P.40)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源コネクターは接続されていますか。
電源コネクターが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(☛ P.36)
- ☐ オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。

例：オフタイマー設定を[1時間]に設定する場合



仕様

外形寸法 (突起部除く)	【フロント】104(幅)×35(直径)mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時50(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合) 【リア】57(幅)×30(直径)mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時39(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合)
本体重量	【フロント】約89g (microSD カード含む) 【リア】約28g
記録媒体	microSD カード (16GB 付属) 8GB ~ 32GB (Class10 以上)
撮像素子	200万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※ ²)
レンズ画角	【フロント】対角158° 【リア】対角143°
最大記録画角※ ¹	【フロント】対角158° (130° (水平)、67° (垂直)) 【リア】対角143° (122° (水平)、65° (垂直))
記録解像度	最大200万画素 1080P HD (1920×1080)／720P (1280×720)
GPS	有
G センサー	有 0.5G ~ 4.0G (0.1G 単位で感度調整可能)
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ) ※ ³
記録方式	常時録画／イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>)
録画ファイル構成	1分単位、14分単位※ ⁴ 、28分単位※ ⁴
音声	ON／OFF 可能
フレームレート	28コマ/秒、14コマ/秒、1コマ/秒※ ⁴
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法	・専用ビューアソフト※ ⁵ (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・専用アプリ [DRY Remote TypeC] ※ ⁶ (弊社ホームページよりダウンロード できます。) ・Windows 標準の Windows Media Player ※ ⁵
電源電圧	DC 12V マイナスアース車専用 (5V 入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃
製品保証期間	3年 (消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：解像度により記録される視野角が変化します。

超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2：STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※3：フロントカメラユニットのみ。

※4：タイムラプスモード中のみ。

※5：Microsoft Windows10、8、7に対応しています。

※6：iOS 9/10/11/12、Android 5/6/7/8/9(Google Play 対応)に対応しています。
(Intel Atom プロセッサ搭載モデルを除く)

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大6A)
出力電圧	出力端子B：12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃ ~ +45℃
外形寸法	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm (突起部除く)
本体重量	約950g (内蔵電池含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃
外形寸法	46(幅)×36(高さ)×16(奥行)mm (突起部除く)
本体重量	約34g

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

・STARVISは、ソニー株式会社の商標です。

microSD カード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

⚠ 注意

容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。

記録媒体	microSDHCカード	※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
容量	8 ～ 32GB	
SDスピードクラス	Class 10以上	

1. 録画時間の目安

■ 常時録画【フロント(F) / リア(R)】28コマ/秒

SDカード容量	32GB	16GB(付属)	8GB
F : 1080P HD / R : 1080P HD	約 140分	約 70分	約 35分
F:1080P HD / R:720P(初期値)	約 160分	約 80分	約 40分
F : 720P / R : 720P	約 180分	約 90分	約 45分

■ 常時録画【フロント(F) / リア(R)】14コマ/秒

SDカード容量	32GB	16GB(付属)	8GB
F : 1080P HD / R : 1080P HD	約 220分	約 110分	約 55分
F:1080P HD / R:720P(初期値)	約 240分	約 120分	約 60分
F : 720P / R : 720P	約 260分	約 130分	約 65分

■ タイムラプスモード【フロント(F) / リア(R)】1コマ/秒固定

SDカード容量	32GB	16GB(付属)	8GB
F : 1080P HD / R : 1080P HD	約 65時間	約 32時間	約 16時間
F : 1080P HD / R : 720P	約 74時間	約 37時間	約 18時間
F : 720P / R : 720P	約 84時間	約 42時間	約 21時間

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※録画時間は、常時録画とイベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)の全ての録画時間の合計です。
※お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録ファイル数

SDカード容量	32GB	16GB(付属)	8GB
ファイル数	64	32	16

※解像度/フレームレートによるファイル数の変化はありません。
※最大記録ファイル数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせたファイル数です。

索引

A	映像ファイル形式 82
ACアダプター 18	お
APP設定画面 70	お客様ご相談センター 87
APP設定ボタン 57	音声 82
APPフォルダー 62	音声記録 69
APPフォルダボタン 57	音声ボタン 49, 53
D	音量 69
DCジャック 15	か
G	外形寸法 82
GPS 82	カメラファームウェアバージョン 69
Gセンサー 82	カメラボタン 49, 52
Gセンサー感度 22	カメラリスト画面 57
Gセンサー記録 22, 69	カメラリストボタン 49, 56
N	き
nmeaファイル 77	技術基準適合証明ラベル 15
O	記録解像度 82
OP-E368 18	記録媒体 82, 84
OP-MB4000 18, 35, 83	記録方式 82
OP-VMU01 18, 38, 83	記録ボタン 16
S	こ
SDカード 13, 19, 84	コンパス 55
SDカードフォルダー 62	さ
SDスピードクラス 84	再生画面 60
SDボタン 16	再生時間 61
STARVIS 82	再生方法 82
W	再生ボタン 61
WiFi設定ボタン 57	最大記録画角 82
あ	撮影素子 82
明るさ調整ボタン 49, 52	し
アフターサービス 87	自動接続 70
アルバム画面 58	写真ファイルボタン 59
アルバム画面ボタン 49, 58	消去ボタン 59, 64
い	常時録画 20, 21
イベント記録 20, 21	常時録画上書き 23
イベント記録件数 84	消費電力 82
う	初期化 12, 69
上書き禁止 23	シリアルナンバー 15
上書きモード 22, 69	す
え	スピーカー 15
映像切替ボタン 49, 53	すべて上書き 23

索引

せ

製品保証期間	82
接続ボタン	57
全ファイルボタン	59
専用アプリ	46
専用ビューアソフト	72, 74

そ

速度単位	70
速度表示	54, 61

た

タイムスタンプ	68
タイムライン	61
タイムラプスモード	24
ダウンロードボタン	59, 63

ち

駐車監視ボタン	16
---------------	----

て

電圧監視機能付 電源ユニット	18, 38, 83
電源直結コード	17, 25, 33
電源電圧	82
電源ランプ	15

と

動画撮影ボタン	49, 51
動画ファイルボタン	59
動作温度範囲	82
ドライブレコーダー撮影映像フォルダボタン	57
ドライブレコーダー設定画面	68
ドライブレコーダー設定ボタン	57
ドライブレコーダー表示ボタン	57
ドライブレコーダーフォルダー	62

な

ネット	15, 16, 17
-----------	------------

は

バックアップ機能	14
----------------	----

ひ

ビデオ解像度	68
表示切替ボタン	55

ふ

ファイル選択ボタン	59
ファイル名	59, 76

フォーマット	11, 70
付属品・別売品の購入	18
ブラケット	15, 16, 17
フレームレート	82
フロントカメラユニット	15

ほ

本体重量	82
------------	----

ま

マイク	15
マップボタン	49, 55, 61
マルチバッテリー	18, 35, 83

む

無線LAN接続	46
無線LANボタン	16

め

メニューボタン	49, 65
メンテナンス	25

よ

容量	84
----------	----

ら

ライブ映像画面	48
---------------	----

り

リアカメラ鏡像	69
リアカメラケーブル	31
リアカメラユニット	16
リスト表示変更ボタン	59
リセットボタン	15, 16
両面テープ	17

れ

レンズ	15, 16
レンズ画角	82

ろ

ローカルフォルダー	62
録画時間	84
録画ファイル構成	82
録画ランプ	15

わ

ワンタッチ記録	22, 43
---------------	--------